

一般社団法人新潟県臨床検査技師会
令和2年度通常総会議案書

期 日 令和2年5月30日（土）13時00分開会
会 場 新潟県公社総合ビル 3階 新潟県臨床検査技師会事務所
※感染拡大防止の観点から一般会員の出席はご遠慮ください。

議事

- 1) 第1号議案 令和元年度事業報告について
- 2) 第2号議案 令和元年度収支決算書について
- 3) 第3号議案 公益目的支出計画変更決議案
- 4) 第4号議案 固定資産を流動資産へ移行決議案
- 5) 第5号議案 支部提出議案について
- 6) 第6号議案 日臨技定時総会提出議案について

報告

令和2年度事業計画および収支予算について

コロナウイルス感染拡大防止の観点から議決権行使書による採決を実施することにいたしました。
会員の皆様におかれましては総会議案書をご確認頂き、必ず議決権行使書の提出をお願いいたします。

令和元年度事業報告

会長

渡邊 博昭

2019年度もこれまでの会務を遂行するとともに、11月16日に朱鷺メッセで開催いたしました第93回新潟県臨床検査学会では346名の方々に参加いただき、盛会裏のうちに無事終了いたしました。これもひとえに、会員の皆様からの応援と、ご協力のおかげと実務委員一同、感謝いたします。

本年度も理事が一丸となって努力して参りましたが、至らぬ点がありご迷惑をお掛けしたと思います。しながら無事に会務を遂行できたことは会員の皆様のご理解とご協力によるものと改めて感謝いたします。

2019年度の事業の概要を下記の通り報告する。

総務部

- ① 平成26年度から一般社団法人に移行したため、定款の確認および各種規定および手順書の見直しを行った。
- ② 表彰関係は昨年度通りの事業を行った。

学術部

- ① 第93回新潟県臨床検査学会を開催した。
- ② 精度管理事業は、日臨技のシステムを使用して事業を行った。
- ③ 検査研究部門活動は活発に開催され、日臨技助成金に対して19研修会の申請を行った。

広報部

- ① 会誌、ニュース、ホームページがそれぞれの役割を明確にして事業を行った。特にホームページは迅速な対応を行った。

1. 通常総会の開催

令和元年5月26日（日）駅前オフィス貸会議室7階大会議室において令和元年度通常総会を開催し、平成30年度事業報告、同決算報告、監査報告の説明があり承認された。また、令和元年度事業計画（案）、収支予算（案）を報告した。

2. 会務の執行体制

1) 職務分担

令和元年度は新役員により会務の執行にあたり、学術部、広報部、総務部の3部門に理事を配置し、各部門との連携を図りながら会務を執行した。

2) 事務局体制

事務局業務が非常に多くなっている現状で、阿部事務員の努力により諸会議の準備や日臨技・北日本支部および会員との連絡・調整役を担い、又、JAMTIS運用による会員情報登録および変更作業を迅速に処理し、組織運営上、大変重要な役割を果たしている。

3. 諸会議の開催

- 1) 理事会 第1回 平成31年4月20日（新潟県公社総合ビル3階 会議室）
- 第2回 令和元年5月26日（駅前オフィス貸会議室7階 小会議室）
- 第3回 令和元年6月15日（新潟県公社総合ビル3階 会議室）
- 第4回 令和元年9月14日（新潟県公社総合ビル3階 会議室）
- 第5回 令和元年10月27日（新潟県公社総合ビル3階 会議室）
- 第6回 令和2年1月11日（ブラーカ KENTO Room B）

2) 常任理事会

定例常任理事会は、令和元年度は2回の開催となった。

3) 三役会議

急な協議事項等についてはメール等を利用し協議を行い、特に三役会議は開催しなかった。

4) 各種委員会の開催

(1) 会誌編集委員会

新臨技会誌（季刊発行）第311号から第314号の編集業務のため、3回開催した。

(2) ホームページ委員会

会員への情報伝達手段としてホームページの充実と運用に努めた。

(3) 検査研究部門委員会

各検査研究分野の活動計画並びに運営等を協議するため1回開催した。

(4) 生涯教育研修委員会

理事会や各支部生涯教育委員と連絡をとりながら研修会予定および参加者の登録を行った。

(5) 精度管理委員会

精度管理調査の事業計画、集計処理状況把握、検討会企画の協議のため4回開催した。

(6) 表彰委員会

各種表彰の対象者選考のため、1回開催した。

4. 組織対策

1) 入会対策

会員数の多い年代が定年を迎え会員数の減少が懸念されるが、各支部役員および各施設連絡責任者の協力により入会を勧めた。

本年度の新入会および再入会の会員数は85名。

本会の正会員総数は1,382名。(令和2年3月現在)

技師連盟入会者数は17名。(令和2年3月現在)

社会的地位向上および今後の業務拡大の為に、更に多くの会員の入会をお願いする必要がある。

2) 各支部との連携強化

各支部ともその地域性を生かした独自の活動が浸透し、年々活発化している。支部総会等に役員を派遣し、連携強化を図った。

5. 地域保健医療活動および公益事業

1) 父の日企画「家族で守ろうパパの健康」に中越支部が参画(6月16日)

2) 佐渡糖尿病ウォークラリーに参画(6月9日)

3) 糖尿病を知る集いに中越支部が参画(7月20日)

4) キッズフェスティバル2019に参画(9月8日)

5) すこやか・ともしびまつり2019に中越支部が参画(9月28・29日)

6) 健康寿命延伸フォーラムに参画(10月14日)

7) ピンクリボンホリデー2019に参画(10月20日)

8) 世界糖尿病デーin長岡2019に中越支部が参画(11月4日)

9) 糖尿病を知る集いに佐渡支部が参画(11月9日)

10) まちなか健康フェスティバル HbA1c 測定会に参画(11月10日)

11) 糖尿病を知る集いに参画(11月10日)

12) 無料 HbA1c 測定会に参画(11月16日)

13) 全国「検査と健康展」を開催(11月23日)

6. 求人情報

日臨技への情報登録とともに、会員へは新臨技ニュースやホームページ等で求人情報を提供した。

7. 災害関係

災害支援活動や会員の安否確認に威力を発揮する災害支援ネットワークに賛同と登録をお願いした。

登録者は100名(令和2年3月現在)となった。

8. 表彰関係(敬称略)

1) 第37回篠川至賞(篠川至賞選考委員会を経て令和元年5月26日通常総会にて表彰)

学術賞部門 高口 功(一般財団法人下越総合健康開発センター)

学術賞部門 小林 聡子(新潟県立中央病院)

2) 令和元年度功労者表彰(令和元年5月27日通常総会にて表彰)

(1) 永年会員功労者表彰 該当者33名

(2) 特別功労者表彰 山川 栄一(JA新潟厚生連けいなん総合病院)

3) 名誉会員 相田 清治

4) 令和元年度生涯教育履修表彰(令和元年5月26日通常総会にて表彰)

奨励賞 石塚 浩章(独立行政法人国立病院さいがた医療センター) 394点

小野 篤史(済生会新潟病院) 390点

寺島 健(独立行政法人国立病院さいがた医療センター) 390点

(JA新潟厚生連小千谷総合病院)

新人賞 関 俊輔(新潟県立新発田病院) 300点

5) 第93回新潟県臨床検査学会テーマ賞(令和元年11月16日学会開会式にて表彰)

菅原 陽子(新潟県立新発田病院)

令和元年度は新潟県臨床検査学会、検査研究部門活動、精度管理事業、生涯教育を中心に1年間活動を行った。県学会を通して医療法改正に伴う臨床検査の精度保障に関する事案を取り上げ、会員の関心事項を取り上げた。

1. 学会

桑原 喜久男

令和元年11月16日(土)に朱鷺メッセ新潟コンベンションセンターにおいて、宮崎実行委員長のもと、第93回新潟県臨床検査学会を開催した。学会テーマは、「Specialty KENSA～検体採取から報告まで～」として、一般演題26演題(内学生1演題)、特別企画2(内1件はシンポジウム)、教育講演5、ランチョンセミナー5が行われ、会員258名、賛助会員35名、学生51名、非会員2名、合計346名の参加をいただいた。シンポジウムでは医療法改正に伴い求められる臨床検査の精度保障に向け、求められる各種標準作業書や各種日誌、台帳について、各施設、部署によって作成方法や留意点、進捗状況について発表があり、多くの会員が参加し、自施設の状況を鑑み質疑応答がなされた。前回学会に続き、緊急検査に実際にうかがえる企画を実施した。放射線医からCT、MRI画像を提示いただき緊急性の高い画像を供覧、この画像から次に必要な医療行為に臨床検査が欠かせない事、そこに携わっている技師の役割をお聞きする事ができ、参加された会員の意識を高揚することになれば大変うれしい限りである。一般演題数は前回より減少したが、演題発表が初めてという会員が多く、フレッシュなものとなった。筆頭発表者の苦勞を知り、研究をまとめる事、多くの方に伝える事を学ぶよい機会になったと考える。今後はこの経験を生かして支部学会、医学検査学会へと発表の場を広げていただければ幸甚である。一般演題における質疑応答にはいささか不満が残った。発表者と座長だけのやり取りは発表者に対してリスペクトに欠けるのではないかと考える。一所懸命に発表に向け準備をした発表者に対しては少しでも疑問に思う事、アドバイスや感激した事を、参加された方々は発表者に伝えていただき、活気ある学会に育てていただきたいと願うものである。賛助会員様からはランチョンセミナー、機器展示へ積極的にご協力を賜り感謝申し上げます。

2. 検査研究部門

中村 岳史

令和元年度検査研究部門は、9部門3分野(生物化学分析部門、臨床一般部門、臨床血液部門、臨床微生物部門、輸血細胞治療部門、病理細胞部門、染色体・遺伝子部門、臨床生理部門、臨床検査総合部門の9部門、臨床生理部門は、神経生理分野、循環生理・呼吸生理分野、超音波分野の3分野)で組織構成され、部門構成員は最大各部門6名、各分野4名、活動費は各部門12万円、各分野8万円で運営された。

今年度、検査研究部門が開催した研修会は、合計17回であった(昨年度17回、一昨年度21回)。各部門分野別では、生物化学分析部門2回、臨床一般部門1回(臨床血液部門との合同開催)、臨床血液部門2回(内1回は臨床一般部門との合同開催)、臨床微生物部門1回、輸血細胞治療部門3回、病理細胞部門3回、染色体・遺伝子部門1回、臨床生理部門(部門として1回、神経生理分野0回、循環生理・呼吸生理分野1回、超音波分野2回)、臨床検査総合部門1回であった。本年度は、新型コロナウイルス感染拡大への対策として、2月と3月に開催予定であった3研修会が中止となったが、例年通りの開催数を維持しており各部門の努力の賜物と思われる。

研修会の内容は、専門性の高い内容から基礎的内容のものまで幅広く企画されており、多くの会員が参加しやすい内容であった。実技研修も積極的に開催されており、技術面での向上にも寄与できた内容であったと考えられた。実技研修では参加者も多く、会員からの高いニーズが伺えた。

次年度も、引き続き会員の声を反映しながら知識や技術の向上のため、会員にとって有益な学術活動を運営していきたい。

検査研究部門の研修会

| 部門 | 開催日 | 生涯教育点数 | 参加人数 | | 研修会内容 |
|---------|---|--------|------|-----|--|
| | | | 会員 | 非会員 | |
| 生物化学分析 | 令和元年 10月26日(土) | 専門20 | 21名 | 2名 | 【新潟県臨床検査技師会生物化学分析部門／第51回日本臨床化学会甲信越支部新潟分会合同研修会】 1. 「高感度トロポニンによる ACS の鑑別―実臨床での効果的使用法―」 アボットジャパン株式会社学術部マネージャー 須川 聡 2. 「標準作業書 (SOP) 作成の際の注意点」 一般社団法人 新潟県労働衛生医学協会 新潟ウェルネス 渡部美穂子 会場：新潟大学医歯学総合病院 12階 大会議室 *日本臨床化学会甲信越支部新潟分会と共催 |
| | 令和元年 12月7日(土) | 専門20 | 22名 | 0名 | 【新潟県臨床検査技師会生物化学分析部門／生物試料分析科学会甲信越支部新潟分会第17回研修会合同研修会】 1. 「プレセプシスは、敗血症マーカーとして理想的か？」 株式会社 LSI メディエンス学術部 白川 嘉門 2. 「HbA1c 測定の再考～変異ヘモグロビンを中心とした変動要因について～」 アークレイマーケティング株式会社 片瀬 優子 会場：新潟大学医歯学総合病院 3階 第6検討会室 *生物試料分析科学会甲信越支部新潟分会と共催 |
| 臨床一般 | 令和元年 8月24日(土) | 専門20 | 53名 | 1名 | 【令和元年度 臨床一般部門・臨床血液部門合同研修会】 1. 「“わからない”を“わかる”にするための形態学」 東北大学病院 診療技術部検査部門 菅原 新吾 2. 「体腔液の標本作製と細胞像」 諏訪中央病院 技術部検査科 保科ひづる 会場：新潟大学医歯学総合病院 12階 大会議室 |
| | 令和2年 3月14日(土) ⇒新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期 | 専門20 | — | — | 【令和元年度 臨床一般部門実技研修会】 1. 「実習前講義」 「血球類」 新潟聖徳病院 齋藤 直子 「上皮細胞類」 宮路 渚 「円柱類」 新潟県労働衛生医学協会 計良 政裕 2. 「鏡検実習」 3. 「質疑など」 会場：新潟医療技術専門学校 西新潟中央病院キャンパス 実習室3 |
| 臨床血液 | 令和元年 8月24日(土) | 専門20 | — | — | 【令和元年度 臨床一般部門・臨床血液部門合同研修会】 ⇒参加人数および研修会内容については、臨床一般部門欄に記載 |
| | 令和元年 11月2日(土) | 専門20 | 31名 | 0名 | 【令和元年度 第2回 臨床血液部門研修会】 1. 「血栓症における D タイマーと SF の臨床的有用性」 LSI メディエンス学術部学術グループ 馬場 光広 2. 「今から使える、症例から学ぶ血液検査データの見方・考え方」 東京大学医学部附属病院 常名 政弘 会場：新潟大学医歯学総合病院 12階 大会議室 |
| 臨床微生物 | 令和元年 9月14日(土) | 専門20 | 57名 | 57名 | 【令和元年度 臨床微生物部門研修会】 1. 「CLSI M100-ED29ドキュメント変更点について」 ダイアグノスティックス営業統括本部マイクロバイオロジー統括部 学術クリニカルアプリケーション部 横山 翼 2. 「臨床微生物検査の最新トピックス2019～菌力アップトレーニングも含めて～」 東京医科大学微生物学分野 大楠 清文 会場：新潟大学駅南キャンパスときめいと 講義室 A・B *ベックマン・コールター株式会社と共催 |
| | 令和2年 2月29日(土) ⇒新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期 | 専門20 | — | — | 【令和元年度 臨床微生物部門研修会】 「真菌検査について」 1. 「講演」 2. 「実習」 医療法人社団小白川至誠堂病院臨床検査科 中川 卓夫 会場：新潟医療技術専門学校 西新潟中央病院キャンパス 2階 大講義室 *極東製薬工業株式会社と共催 |
| 輸血・細胞治療 | 平成31年 4月27日(土) | 専門20 | 56名 | 3名 | 【平成31年度 輸血細胞治療部門研修会】 1. 「輸血検査の基礎」 あがの市民病院 近藤 善仁 2. 「直近10年の血液事業の変化とこれからの展望」 新潟県赤十字血液センター 古俣 妙 3. 「学会認定・臨床輸血看護師から学ぼう！輸血現場の実際」 新潟県立新発田病院 久保 淳美 会場：新潟大学医歯学総合病院 12階 大会議室 |
| | 令和元年 6月30日(日) | 専門20 | 64名 | 2名 | 【輸血細胞治療部門 輸血検査実技講習会】 〈基礎コース〉 血液型、不規則抗体検査を実施し、凝集の見方、試験管の振り方等、初歩的な技術・考え方の習得を目指します。新人や専門に輸血検査をやられていない初心者、初級レベルの方が対象 〈認定および技能維持コース〉 血液型、不規則抗体検査、抗体解離試験等を実施し、総合的に輸血検査の理解を深めます。専門に輸血検査をやられている方や、ある程度の基礎技術を持っている中級者レベル以上の方が対象 会場：新潟医療福祉大学 第6研究棟 N401・N402実習室 |

| 部門 | 開催日 | 生涯教育 点数 | 参加人数 | | 研修会内容 |
|---------|---|------------|------|-----------------|---|
| | | | 会員 | 非会員 | |
| 輸血・細胞治療 | 令和元年 10月19日（土） | 専門20 | 67名 | 5名 | 【令和元年度 輸血細胞治療部門研修会】 1. 「直接抗グロブリン試験の陽性時の検査の進め方」 バイオ・ラッドラボラトリーズ株式会社 柿沼 幸利 2. 「認定輸血検査技師認定試験について」 新潟大学地域医療教育センター・魚沼基幹病院臨床検査科 小林 徹 3. 「不規則性抗体検査ブラッシュアップ！～基礎から応用そして最新トピックス～」 東邦大学医療センター大森病院輸血部 日高 陽子 会場：新潟大学医学部講義棟 3階 第3講義室 |
| 病理細胞 | 平成31年 4月21日（日） | 専門20 | 35名 | 15名 | 【平成31年度 病理細胞部門研修会】 1. 「国際医療と感染症」 コンゴ民主共和国保健省次官付顧問（JICA） 国立国際医療研究センター国際医療協力局 仲佐 保 2. 「TACAS™Ruby：上尾方式による内膜細胞診とその応用」 上尾中央総合病院検査技術科病理細胞診技術顧問 大野 喜作 3. 「鏡検実習「子宮内膜細胞診」」 会場：新潟大学医学部総合病院 12階 大会議室 新潟大学医学部 実習室3A（実習） *新潟支部病理技術研究会・新潟県細胞検査士会と共催 |
| | 令和2年 1月18日（土） | 専門20 | 39名 | 10名 | 【令和元年度 第2回病理細胞部門研修会】 1. 「認定病理検査技師による細胞診フォトサーベイ解説」 新潟県立中央病院 八木 美菜 新潟県立がんセンター新潟病院 畔上 公子 JA新潟厚生連長岡中央総合病院 片桐 丘充 新潟大学医学部総合病院 川口裕貴恵 2. 「細胞診フォトサーベイ総評」 済生会新潟病院 遠藤 浩之 3. 「呼吸器細胞診」 北里大学病院病理部 柿沼 廣邦 4. 「鏡検実習「呼吸器細胞診」」 北里大学病院病理部 柿沼 廣邦 会場：新潟大学医学部 第4講義室・新潟大学医学部 実習室3A *新潟支部病理技術研究会・新潟県細胞検査士会と共催 |
| | 令和2年 2月1日（土） | 専門20 | 33名 | 0名 | 【第41回新潟病理技術研究会】 1. 「コントロール切片の使用方法について」 新潟医療センター 長谷川秀浩 新潟県立がんセンター新潟病院 川口 洋子 長岡赤十字病院 高頭 秀吉 白井松器械株式会社 丸山 拓二 2. 「病理検査と化学の関係性によるキシレンフリーの新しい処理方法」 東海大学医学部付病院 病理検査技術科 芹澤 昭彦 3. 「病理診断における免疫染色の精度管理と応用」 会場：新潟県立がんセンター新潟病院 2階 講堂 *新潟県病理技術研究会と共催 |
| 染色体・遺伝子 | 令和元年 10月19日（土） | 専門20 | 18名 | 14名 学生 2名 | 【令和元年度 染色体・遺伝子部門研修会】 1. 「遺伝子検査のいま～進む個別化医療、遺伝子検査でできること～」 アークレイマーケティング株式会社 片瀬 優子 2. 「HER2-FISHの基礎とFISH法の応用」 株式会社常光 今野 佳祐 3. 「肺癌EGFR遺伝子変異検査における精度向上の取り組み」 香川大学医学部付属病院病理診断科・病理部 羽場 礼次 会場：新潟大学医学部 第4講義室 *講演3：アストラゼネカ株式会社と共催 |
| 臨床生理 | 令和元年 6月16日（日） | 専門20 | 81名 | 0名 | 【生理検査基礎セミナー】 1. 「レクチャー」 ①心電図検査の基礎 JA新潟厚生連新潟医療センター 三富 圭 ②呼吸機能検査の基礎 労働衛生医学協会新潟健康増進センター 若林 佳美 ③事例から学ぶ生理検査に役立つ検査データのみかた 新潟県立中央新潟病院 高橋 政江 2. 「安全な採血のための基礎知識」 新潟大学医学部総合病院 小林 清子 会場：新潟大学医学部総合病院 12階 大会議室 |
| | 神経生理分野 令和元年 3月15日（日） ⇒新型コロナウイルス感染拡大 防止のため延期 | 専門20 | — | — | 【神経生理検査セミナー2020】 1. 「睡眠時無呼吸症候群～現在・過去・未来」 篠田耳鼻咽喉科医院 篠田 秀夫 2. 「PSG解析について」 西新潟中央病院 土屋 邦子 3. 「CPAPを含む呼吸管理法について」 新潟県立中央病院 原 隆芳 会場：新潟大学医学部 医学部 西講義棟1階 第1講義室 |
| | 循環・呼吸生理 分野 令和元年 12月21日（土） | 専門20 | 82名 | 0名 | 【2019年度心電図セミナー】 1. 「日臨床サーベイ心電図の解説～過去問を振り返る～」 JA新潟厚生連長岡中央総合病院検査科 大矢 佳奈 2. 「心電図異常を心エコー図で診る」 札幌医科大学附属病院検査部科 齋藤 和 3. 「植込み型心臓デバイスの特徴と心電図」 新潟大学医学部総合病院循環器内科 長谷川祐紀 会場：新潟大学医学部総合病院 12階 大会議室 |

| 部門 | 開催日 | 生涯教育点数 | 参加人数 | | 研修会内容 |
|--------|---|--------|------------------------|----------------------|--|
| | | | 会員 | 非会員 | |
| 臨床生理 | 超音波分野 令和元年 8月10日(土) 新潟会場 8月11日(日) 長岡会場 | 専門20 | 新潟 32名 長岡 24名 | 新潟 0名 長岡 2名 | 【令和元年度超音波実技セミナー】 セミナー内容 心臓超音波 新潟県立十日町病院 和智 順子 JA 新潟厚生連新潟医療センター 三富 圭 腹部超音波 労働衛生医学協会新潟健康増進センター 若林 佳美 新潟県立妙高病院 宮崎 智美 頸動脈エコー JA 新潟厚生連長岡中央総合病院 大矢 佳奈 新潟会場：新潟大学医歯学総合病院 12階 大会議室 長岡会場：JA 新潟厚生連長岡中央総合病院 2階 講堂 |
| | 超音波分野 令和元年 8月25日(日) | 専門20 | 18名 | 3名 | 【令和元年度超音波検査士対策セミナー】 「超音波装置を上手に扱うために知っておきたい超音波基礎的知識」 GEヘルスケア・ジャパン株式会社超音波本部 山本 幸弘 会場：新潟大学医歯学総合病院 12階 小会議室 |
| 臨床検査総合 | 令和元年 11月9日(土) | 専門20 | 24名 | 0名 | 【令和元年度 臨床検査総合部門（公衆衛生）研修会】 1. 「結核と QFT-Plus について」 日本ビーシージー製造株式会社学術部 山崎 文子 2. 「HIV 検査について～最近の検査の動向」 神奈川県衛生研究所 佐野 貴子 会場：駅前オフィス貸会議室中会議室（第五マルカビル7階） |

3. 精度管理事業

坂西 清

本年度も新潟県から新潟県医師会への委託事業である令和元年度（第40回）新潟県臨床検査精度管理調査を行った。技師会としても積極的に当事業に協力し、集計、解析を含めた実務の中心的役割を果たすと共に、臨床検査の精度向上に努めた。

本事業を担当する精度管理委員会は全体会議と臨床化学担当の分科会を含め計6回開催し、実施計画及び配送準備、データ集計、解析を実施した。

微生物検査は技師会が担当する一般菌1菌種の感受性と、新潟県保健環境科学研究所が担当する2菌種の同定を合わせて実施した。

臨床化学は昨年同様28項目を実施した。調査試料は低濃度域に自家製ヒトプール血清を用い、高濃度域には市販管理試料を用いた。評価基準は（一社）日本臨床衛生検査技師会精度管理調査に準じた。

本年度より酵素項目、濃度項目の目標値設定については、基幹施設およびISO取得施設に別途測定依頼したデータを用い設定した。酵素項目においては、ReCCS標準物質、JSCC常用基準法にトレーサブルであるJSCC-SOP法を用いた測定値と参加施設報告平均値に差がみられる項目があり、基幹施設報告値を利用していた。濃度項目においては、昨年度まで基幹施設にReCCS標準物質を配布して日常検査法で目標値設定したが、この配布に利用するドライアイスの影響を電解質項目において受けることが判明した。以上のことから上記のとおり目標値設定方法を変更した。HDLコレステロール、LDLコレステロールは今年度の調査に用いた試料において測定方法（測定試薬）により値が異なるため、できるだけ多くの測定方法（測定試薬）に目標値を設定したいと考えメーカー報告値を目標値とした。また、LDLコレステロールの試料12（市販管理血清）において、デンカ生研試薬にて測定機種により測定値に差がみられたため目標値を別設定とした。クロール（Cl）についても電極の違いにより測定値に差がみられたため別設定とした。HbA1cは本年度も日本赤十字社全血検体を用いたが、測定方法（測定試薬）により反応性が異なるためメーカー報告値を用いて測定方法毎に目標値を設定した。

評価基準は昨年と同様に目標値からのバイアスの許容誤差限界（ B_A ）とした。ただし、評価基準は本年度から以下に示す日本臨床衛生検査技師会精度管理調査に準じた。本年度も試料11にヒトプール血清を使用しており、アラニンアミノトランスフェラーゼ（ALT）、クレアチニン（Cre）において低濃度となったため暫定的に評価基準を目標値 $\pm 10\%$ とした。乳酸デヒドロゲナーゼ（LD）もばらつきが確認されたため、暫定的に $\pm 5\%$ とした。また、ナトリウム（Na）及びクロール（Cl）は日本臨床衛生検査技師会精度管理調査と同様

に評価B以下の基準を変更した。カリウム (K) は B_A が1.9%あるが、規格の運用において、「測定値が小さく、目標値 $\times B_A$ (%) の値、あるいは目標値 $\times 5\%$ (許容誤差限界上限) の値が、日常報告している結果報告桁数の最小単位未満となる項目は結果報告桁数の最小幅の2倍を許容誤差限界とすることを推奨する。」となっていることから目標値 $\pm 0.2\text{mEq/L}$ とした。

なお、尿素窒素は ReCCS の標準物質の認証値は内因性のアンモニアを含んでいないことからアンモニア消去 (回避) 法以外の測定方法、そしてクレアチンキナーゼ (CK) のアキュラスオート (シノテスト) は市販ヒト由来管理血清である試料12の反応性が異なることから、また測定方法未記入等は目標値の設定が不可能であるため評価対象外とした。

ドライケミストリー法はナトリウム (Na)、カリウム (K)、クロール (Cl) はドライケミストリー法以外の方法と同様の評価基準としたが、それ以外の評価項目はマトリックスの影響を受けやすいため、評価Bを1.5倍 (目標値 $\pm 7.5\%$) に広げた。

また、集計に用いた精度管理用システム (JAMTQC) は5施設未満の集団の統計処理、および目標値の設定が不可能である。そのため、方法別および試薬別に目標値を設定した項目で6施設未満の場合は評価を「施設別報告書」に反映させることが不可能であることから「対象外」の表記になる。ご不便をおかけすることをお詫びするとともに、下記の目標値を参考に自施設の正確度の判断をお願いしたい。

血液検査については、各項目とも昨年と同程度の収束がみられ、良好な結果であった。血液像目視サーベイは健常人血液を用いて行い、概ね良好な結果となったが一部で好酸球や反応性リンパ球の割合が明らかに高い施設が見られた。

一般フォトサーベイについては正解率80%を越えた設問が10設問、80%未満が2設問であった。設問8は尿管上皮細胞 (特殊型) を鑑別する設問で正解率が特に低かった。例年正解率の低い赤血球形態を鑑別する設問 (設問11・12) は80%を越え、鑑別能力の向上がみられた。

微生物 (薬剤感受性) については抗菌薬3種類、ピペラシリン/タゾバクタム (以下 PIPC/TAZ) : 51施設、セフトジジム (以下 CAZ) : 52施設、ゲンタマイシン (以下 GM) : 47施設の参加であった。CAZ のディスク拡散法の A 評価が66.7%となったが、これは実施施設数が少ないためである。その他の結果は全体的に良好であった。

精度管理調査事業の内容は以下のとおりである。

1. 試料の到着 臨床化学は令和元年10月28日 (月) に各施設に到着。
2. 測定日 サンプル到着後、可能な範囲で速やかに実施。
3. 測定項目

1) 臨床化学 ※生化学試料：冷凍試料・HbA1c 試料：冷蔵試料

グルコース (Glu)、ヘモグロビン A1c (HbA1c)、総ビリルビン (TB)、ナトリウム (Na)、カリウム (K)、クロール (Cl)、カルシウム (Ca)、無機リン (IP)、鉄 (Fe)、マグネシウム (Mg)、総蛋白 (TP)、アルブミン (Alb)、C 反応性蛋白 (CRP)、尿酸 (UA)、尿素窒素 (UN)、クレアチニン (Cre)、総コレステロール (TC)、中性脂肪 (TG)、HDL- コレステロール (HDLC)、LDL- コレステロール (LDLC)、アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ (AST)、アラニンアミノトランスフェラーゼ (ALT)、アルカリフォスファターゼ (ALP)、乳酸デヒドロゲナーゼ (LD)、アミラーゼ (AMY)、クレアチンキナーゼ (CK)、 γ - グルタミルトランスフェラーゼ (GGT)、コリンエステラーゼ (ChE) の28項目。

ドライケミストリー法は本年度も無機リン (IP)、総ビリルビン (TB) の参加は選択可能。また、LDL- コレステロール (LDLC) は実施せず。

2) 血液 ※血液試料：冷蔵試料

CBC 6 項目 (Hb、PLT、WBC、RBC、Ht、MCV)

評価は変更しない（PLT の許容は±10%。Ht、MCV は評価しない）

血液像フォトサーベイ（10問）を実施。

4. 測定方法

各施設で使用している試薬、機器を用いて測定。

測定回数はルーチン検査と同様、「1回測定」の測定値を報告。また、他施設の情報を得ることは禁止とします。

5. サンプル及び取り扱い

1) 臨床化学

※ドライケミストリー法は専用のサンプル13、14を測定。

| 試料 | 測定項目 | 取扱い上の注意 |
|--|--|---|
| 11 | グルコース (Glu)、総ビリルビン (TB)、ナトリウム (Na)、カリウム (K)、クロール (Cl)、カルシウム (Ca)、無機リン (IP)、鉄 (Fe)、マグネシウム (Mg)、総蛋白 (TP)、アルブミン (Alb)、C 反応性蛋白 (CRP)、尿酸 (UA)、尿素窒素 (UN)、クレアチニン (Cre)、総コレステロール (TC)、中性脂肪 (TG)、HDL-コレステロール (HDL)、LDL-コレステロール (LDL)、アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ (AST)、アラニンアミノトランスフェラーゼ (ALT)、アルカリフォスファターゼ (ALP)、乳酸デヒドロゲナーゼ (LD)、アミラーゼ (AMY)、クレアチンキナーゼ (CK)、 γ -グルタミルトランスフェラーゼ (GGT)、コリンエステラーゼ (ChE) | ヒト血清です。サンプル到着後は-40℃以下に凍結保存してください。不可能な場合、できるだけ速やかに測定してください。測定時は流水中で融解してください。また、感染性の確認はしてありません。取り扱いには十分注意してください。 |
| 12 | グルコース (Glu)、ナトリウム (Na)、カリウム (K)、クロール (Cl)、カルシウム (Ca)、鉄 (Fe)、マグネシウム (Mg)、総蛋白 (TP)、アルブミン (Alb)、C 反応性蛋白 (CRP)、尿酸 (UA)、尿素窒素 (UN)、クレアチニン (Cre)、総コレステロール (TC)、中性脂肪 (TG)、HDL-コレステロール (HDL)、LDL-コレステロール (LDL)、アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ (AST)、アラニンアミノトランスフェラーゼ (ALT)、アルカリフォスファターゼ (ALP)、乳酸デヒドロゲナーゼ (LD)、アミラーゼ (AMY)、クレアチンキナーゼ (CK)、 γ -グルタミルトランスフェラーゼ (GGT)、コリンエステラーゼ (ChE) | ヒト血清由来凍結品です。サンプル到着後は-40℃以下に凍結保存してください。不可能な場合、できるだけ速やかに測定してください。測定時は流水中で融解してください。また、感染性の安全はできる範囲で確認済みですが、取り扱いには十分注意してください。 |
| 13 (DRY I) 14 (DRY II) ※ドライケミストリー法専用 | グルコース (Glu)、ナトリウム (Na)、カリウム (K)、クロール (Cl)、カルシウム (Ca)、鉄 (Fe)、マグネシウム (Mg)、総蛋白 (TP)、アルブミン (Alb)、C 反応性蛋白 (CRP)、尿酸 (UA)、尿素窒素 (UN)、クレアチニン (Cre)、総コレステロール (TC)、中性脂肪 (TG)、HDL-コレステロール (HDL)、LDL-コレステロール (LDL)、アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ (AST)、アラニンアミノトランスフェラーゼ (ALT)、アルカリフォスファターゼ (ALP)、乳酸デヒドロゲナーゼ (LD)、アミラーゼ (AMY)、クレアチンキナーゼ (CK)、 γ -グルタミルトランスフェラーゼ (GGT)、コリンエステラーゼ (ChE) | ヒト血清です。サンプル到着後は-40℃以下に凍結保存してください。不可能な場合、できるだけ速やかに測定してください。測定時は流水中で融解してください。また、感染性の確認はしてありません。取り扱いには十分注意してください。 |
| 17 | ヘモグロビン A1c (HbA1c) | ヒト血液です。 通常の検体と同様に測定してください。感染性の安全はできる範囲で確認済みですが、取り扱いには十分注意してください。また、サンプル到着後は冷蔵保存し、できるだけ速やかに測定してください。 |

2) 血液

| 試料 | 測定項目 | 取扱い上の注意 |
|----|--|--|
| 41 | ヘモグロビン濃度、血小板数、白血球数、赤血球数、ヘマトクリット値、平均赤血球容積 | 市販管理血球 です。サンプル到着後は冷蔵保存してください。 (凍結厳禁) 。感染性の完全な否定はできませんので、取り扱いには十分注意してください。 [装置の測定条件] (1) マニュアルとクローズドの測定モードがある場合、マニュアルモードで測定してください。 (2) 患者検体を測定するモードで測定してください。 (3) CBCのみ(白血球分画等なし)のモードで測定をお願いします。CBCのみにできない機種はそのまま測定してください。なお、赤芽球等を白血球から除外する機能を有する機種の場合、除外前の白血球数で報告してください。 (4) ヘモグロビン測定において、シアンを用いるか用いないかの方法選択ができる機種については、通常業務で用いている方法で行ってください。 [試料の準備と測定] 室温に15分間静置後、静かに転倒混和ときりもみを繰り返し行い、充分に混和してください。 (激しく振ることは絶対に避けてください) 。よく混和された状態で、直ちに測定してください。 報告値については、「測定機種に依存する注意事項について」を参照してください。 |

6. 成績報告締切：令和元年11月5日（月）

7. 報告（臨床化学・血液）

日臨技システムでの報告。日本臨床衛生検査技師会のHPよりJAMT QCに入ってください、参加登録、試料到着の登録を実施後、システムにて報告。

8. 参加費 昨年までと同様に無料。

9. 目標値と評価基準について

1) 臨床化学

グルコース (Glu)、ナトリウム (Na)、カリウム (K)、クロール (Cl)、カルシウム (Ca)、尿酸 (UA)、尿素窒素 (UN)、クレアチニン (Cre)、総コレステロール (TC)、中性脂肪 (TG)、HDL-コレステロール (HDL-C)、LDL-コレステロール (LDL-C)、アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ (AST)、アラニンアミノトランスフェラーゼ (ALT)、アルカリフォスファターゼ (ALP)、乳酸デヒドロゲナーゼ (LD)、アミラーゼ (AMY)、クレアチンキナーゼ (CK)、 γ -グルタミルトランスフェラーゼ (GGT)、コリンエステラーゼ (ChE)、ヘモグロビン A1c (HbA1c) は次頁の表の標準物質及び測定方法で目標値を設定し、日本臨床衛生検査技師会精度管理調査の評価基準に準じて評価を行います。HDL-コレステロール (HDL-C)、LDL-コレステロール (LDL-C) は測定試薬別に評価を行います。ドライケミストリー法も同様に評価を行います。日本臨床衛生検査技師会精度管理調査の評価基準を以下に示します。ただし、反応性等に問題が確認された場合、変更する場合があります。総ビリルビン (TB)、無機リン (IP)、鉄 (Fe)、マグネシウム (Mg)、総蛋白 (TP)、アルブミン (Alb)、C反応性蛋白 (CRP) は評価せず、単純集計のみを実施します。

※【日本臨床衛生検査技師会臨床化学部門評価基準】

項目、試料ごとに目標値を定め、さらに目標値に対して以下に示す評価幅を加え評価基準とする。

・評価A：「基準」を満たし、優れている

目標値 \pm 生理的変動を基に算出した施設間の許容誤差限界 (analytical bias, B_A)^{*1)} 内の報告値。健康人の生理的変動幅から算出され、項目によっては大きな数値となっているため、上限を5%に設定した。

*1) B_A ：日本臨床化学会クオリティマネジメント専門委員会：生理的機変動に基づいた臨床化学検査36項目における測定の許容誤差限界、臨床化学2006；35：144-153

・評価B：改善の余地が見込めるが「基準」を満たしている

目標値 \pm 体外診の性能確認幅^{*2)} 内の報告値。但し、現状の収束状況を考慮し上限を5%と設定した。

*2) 体外診の性能確認幅：平成9年の医薬発139号の厚生省医薬安全局長通知（体外診断用医薬品の取扱いについて）、医薬審第181号の医薬安全局長管理課長通知、厚生省医薬安全局審査管理課事務連絡（体外診断医薬品の申請の際の性能の確認について）、等の許容測定変動係数（範囲）に準じた。

・評価C：「基準」を満たしておらず改善が必要

目標値 \pm 評価Bの幅を超え、この幅の最大1.5倍までの報告値。

・評価D：「基準」から大きく逸脱し、早急な改善が必要

目標値 \pm 評価Cの幅を超えた報告値。

本精度管理調査では評価Aもしくは評価Bに達することが望ましい。

臨床化学目標値設定方法と評価基準

| 項目 | 単位 | 標準物質 | 測定方法 | 評価基準 | |
|---------------------------|-------|-------------------|-----------------|-----------------------------|---------------------------|
| グルコース (Glu) | mg/dL | ReCCS 標準品 | ヘキソキナーゼ法、電極法 | 目標値±2.3% | |
| ナトリウム (Na) | mEq/L | | 電極法 | 目標値±2 mEq/L | |
| カリウム (K) | mEq/L | | 電極法 | 目標値±0.2mEq/L | |
| クロール (Cl) | mEq/L | | 電極法 | 目標値±2 mEq/L | |
| カルシウム (Ca) | mg/dL | | 各種測定方法 | 目標値±1% | |
| 尿酸 (UA) | mg/dL | | ウリカーゼ・POD法 | 目標値±5% | |
| 尿素窒素 (UN) | mg/dL | | アンモニア消去法 | 目標値±5% | |
| クレアチニン (Cre) | mg/dL | | 酵素法 | 試料11目標値±10% 試料12目標値±4.8% | |
| 総コレステロール (TC) | mg/dL | | 酵素法 | 目標値±4.5% | |
| 中性脂肪 (TG) | mg/dL | | 酵素法 (FG 消去) | 目標値±5% | |
| HDL-コレステロール (HDLc) | mg/dL | | 各社直接法 | 目標値±5% | |
| LDL-コレステロール (LDLc) | mg/dL | | 各社直接法 | 目標値±5% | |
| アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ (AST) | U/L | | JCCLS CRM001 | JSCC (JCCLS) 自動化法 | 目標値±5% |
| アラニンアミノトランスフェラーゼ (ALT) | U/L | | | JSCC (JCCLS) 自動化法 | 試料11目標値±10% 試料12目標値±5% |
| アルカリフォスファターゼ (ALP) | U/L | JSCC (JCCLS) 自動化法 | | 目標値±5% | |
| 乳酸デヒドロゲナーゼ (LD) | U/L | JSCC (JCCLS) 自動化法 | | 目標値±5% | |
| アミラーゼ (AMY) | U/L | JSCC (JCCLS) 自動化法 | | 目標値±5% | |
| クレアチンキナーゼ (CK) | U/L | JSCC (JCCLS) 自動化法 | | 目標値±5% | |
| γ-グルタミルトランスフェラーゼ (GGT) | U/L | JSCC (JCCLS) 自動化法 | | 目標値±5% | |
| コリンエステラーゼ (ChE) | U/L | JCCLS CRM002 | | JSCC (JCCLS) 自動化法 | 目標値±4.7% |
| ヘモグロビン A1c (HbA1c) | % | JCCRM411 | | HPLC 法 | 目標値±5% |

2) 血液

ヘモグロビン・血小板数・白血球数・赤血球数について、各メーカー製キャリブレーターにより校正が行われた装置で、測定のコラボが得られた機種について、その値を目標値に設定し、機種別に評価基準に添って該当機種のサンプルについて評価を行います。

ヘモグロビン・白血球数・赤血球数について、評価基準は臨床的許容限界 JCCLS, 1994を基に設定しました。血小板数については、試料の目標値が基準値下限付近であることから、他県の精度管理の状況を参考に設定しました。ヘマトクリット、平均赤血球容積は評価せず、単純集計のみ実施します。

血液検査 評価基準

| 項目 | 単位 | 目標値設定装置 | 評価基準 |
|--------|----------------------|--|-----------|
| ヘモグロビン | g/dL | ICSH CLSI の推奨する国際標準法にトレーサビリティが確保された各メーカーキャリブレーターにより校正された装置 | 目標値±3.6% |
| 血小板数 | ×10 ⁹ /L | | 目標値±10.0% |
| 白血球数 | ×10 ⁹ /L | | 目標値±5.6% |
| 赤血球数 | ×10 ¹² /L | | 目標値±4.1% |

3) 一般フォトサーベイ

1. 一般検査フォトサーベイを実施します。設問数は19設問、評価対象は設問1～12です。

アンケートにもご協力ください。

2. 問題について

令和元年10月28日(月)から、「日臨技精度管理調査システム」よりダウンロードが可能です。

3. 回答締切：令和元年11月5日(火) 23:59

4. 報告方法

- 1) 日臨技システムでの報告となります。日本臨床衛生検査技師会のHPよりJAMT QCに入ってください、参加登録、試料到着の登録を実施後、システムにて報告をお願いいたします。
- 2) 登録方法、回答入力方法については、「参加登録・回答入力要項」を参照してください。

5. 注意事項

可能な限り鑑別しやすい写真を選定していますが、プリントアウトする場合は印刷機の性能により判別が難しくなることがあります。必ず一度はダウンロードしたPDFファイルをPCモニター上で確認してください。

6. 評価方法

「臨床検査精度管理調査フォトサーベイ評価法における日臨技指針」に則り、評価を行います。

4) 微生物（薬剤感受性）

試料の配布日時：中継施設への郵送・運搬 令和元年10月28日（月）～29日（火）

：参加施設への受領 令和元年10月30日（水）～11月1日（金）

- 1 検査開始日 試料を受取り次第、検査を開始してください。
- 2 検査項目 試料中に含まれる病原細菌のアンピシリン（ABPC）、セフトキシム（CTX）メロベネム（MEPM）3薬剤について薬剤感受性検査を実施し、日常的に臨床へ行う最終報告を入力してください。
- 3 検査方法 各施設で日常的に行っている方法で実施してください。
- 4 試料 試料C（*Klebsiella pneumoniae*）を用いて実施してください。
- 5 試料の取扱い 試料は検査開始まで冷蔵保存してください。また、試料には病原細菌が含まれていますので、取扱いには十分注意してください。
- 6 試料の調整 試料Cはカジトン培地にて保存してあります。
※一旦、ハートインフュージョンブイヨン培地等で増菌し、平板培地にひろげた後、独立集落を釣菌してください。（栄研化学 ポアメディア®カジトン培地 添付文書より）
- 7 報告期限 令和元年11月18日（月）締め切り
- 8 報告方法 日臨技システムでの報告となります。日本臨床衛生検査技師会のHPよりJAMT QCに入ってください、参加登録、試料到着の登録を実施後、システムにて報告をお願いいたします。登録方法、回答入力については、「参加登録・回答入力要項」を参照してください。
- 9 記入上の注意 「参加登録・回答入力実施要項」を熟読うえ、記入漏れのないようにしてください。
- 10 評価について 今年度より評価設定を行います。
評価A：薬剤感受性試験、ブレイクポイント（CLSI）の判定、薬剤耐性菌のタイプ、確認試験が正しく行われているもの。評価D：上記以外のもの1検査開始日：試料を受取り次第、検査を実施。

4. 生涯教育

近藤 善仁

各検査研究班・各支部担当者にご尽力いただき、行事登録および参加者登録を行っていただいた。日臨技より支給される「生涯教育推進研修会助成金」の交付額は、上限である20研修会の申請を完了していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止により1研修会を次年度へ延期とした。最終的に19研修会・計752,500円を受け取ることができた。

広報部

副会長 坂西 清

今年度も、新臨技会誌、新臨技ニュース、新臨技ホームページの運営を軸に全会員にリアルタイムに情報の提供が出来るよう心がけて運営をしてきた。ホームページは即時に会員にお知らせできる事から有益な情報をできるだけ早く掲載することに努め、情報発信手段として安定した運営を目指し活動を行ってきた。理事会終

了後に発行する新臨技ニュースは、理事会議事要旨、研修会案内および求人情報など新臨技の新しい情報を会員施設へ提供できた。会誌に関しては、初めての演題発表者に焦点をあてる学会参加報告や施設紹介など会員に親しみやすい内容から、学術的な内容まで幅広い内容の会誌発行を務めてきた。

1) 新臨技会誌

神林 真弓

〔講義・研究〕基礎的な内容から最新の情報まで幅広い分野において掲載した。

〔研修会報告〕研修会に参加した会員の協力を得て、研修会を身近に感じ、参加できなかった会員の方にも講義内容をお伝えできる頁とした。

〔認定技師制度紹介〕臨床検査技師に関わる様々な認定資格を紹介し、スキルアップに繋がる情報を提供した。

〔ペンリレー〕〔新入会員紹介〕〔検査技師として～私の奮闘記～〕

誰もが参加でき、新入会員の紹介や会員の日常、職場での活躍ぶりを掲載することで会員同士の繋がりを深める頁となった。

〔公益活動参加報告〕公益活動は一般の方に臨床検査技師を知っていただく大変良い機会なので、多くの会員に参加していただけるよう活動内容を把握できる頁とした。

〔施設紹介〕病院から検診センター、研究所など様々な施設を紹介することで、施設情報の共有を図った。

〔学会参加報告〕始めて学会発表をした会員に感想を含めた報告書を執筆していただき、これから発表を考えている会員の参考にしていただけるよう努めた。

年4回 季刊発行（311号から314号まで）

〈2019年度会誌掲載内容〉

311号 平成31年4月1日

〔講義〕

5項目マルチプレックスPCRによる起炎菌と耐性遺伝子同時検出の意義について
尿検査における最近の話題

堂浦 照也
渡辺 浩

〔篠川至賞とは〕

篠川 至賞について

坂西 清

〔お知らせ〕

第93回新潟県臨床検査学会案内（予告）メインテーマ募集のお知らせ

〔研修会参加報告〕

臨床検査総合部門（公衆衛生）研修会に参加して
平成30年度輸血細胞治療部門研修会に参加して
平成30年度血管エコーセミナーに参加して

阿部 望
飯塚 梨恵
長谷部香純

〔施設紹介〕医療法人恒仁会 新潟南病院

高橋 恭矢

〔ペンリレー〕

坂内 政紀

〔検査技師として～私の奮闘記～〕

中川里紗子、大塚 彩菜、石坂由香梨、小林 真依、安田 佳恵

〔会報〕

一般社団法人新潟県臨床検査技師会2019年度通常総会議案書

一般社団法人新潟県臨床検査技師会2019年度事業計画

平成30年度 12月常任理事会議事録

平成30年度 第6回理事会議事録

平成30年度 2月常任理事会議事録
新入会員紹介
新臨技会日誌
〔行事予定〕

312号 令和元年7月1日

〔あいさつ〕 会長就任あいさつ

渡邊 博昭

〔講義〕

Helicobacter pylori (ピロリ菌) が引き起こす疾患と診断・治療のための検査とその特徴
心電図について (日当直業務時を中心に)

飯田 慶治
吉楽 恵

〔施設紹介〕

一般社団法人新潟県労働衛生医学協会 佐渡検診センター

磯西 拓人

〔受賞者のことば〕

篠川 至賞を受賞して
篠川 至賞を受賞して
生涯教育新人賞を受賞して

高口 功
小林 聡子
関 俊輔

〔研修会参加報告〕

平成30年度第3回新潟支部研修会に参加して
上越支部春季研修会に参加して
佐渡支部研修会に参加して
平成30年度臨床一般部門実技研修会に参加して
平成30年度第3回下越支部研修会に参加して
平成30年度認知症対応力向上講習会Bに参加して
ニューリーダー育成研修会に参加して
多職種連携のための臨床検査技師能力開発講習会に参加して

宮野 柚花
南保 和子
大竹由紀子
生田 泰豊
齋藤 芳弘
中澤 順子
五十嵐康之
吉田 賢一

〔認定技師制度紹介〕 遺伝子分析科学認定士

畔上 公子

〔ペンリレー〕

小林 裕真

〔検査技師として～私の奮闘記～〕

後藤 若奈、伊藤 結子、瀧澤 悠太、小林 果歩、照井 実咲、辻川明香里、
駒形 瑠美、安藤 諒、鬼山 明穂

〔会報〕

平成30年度 第7回理事会議事録
2019年度 収支予算書
2018年度 監査報告書
2018年度 公益目的支出計画実施報告書
2019年度 一般社団法人新潟県臨床検査技師会 通常総会議事録
2019年度 通常総会からのアンケート回答
お詫びと訂正
新入会員紹介
新臨技会日誌

〔行事予定〕

313号 令和元年10月1日

〔講義〕

BNP 総論

輸血検査におけるマイクロプレート法の原理・特徴について

西留明日香

白幡 繁

〔案内〕 第93回新潟県臨床検査学会

〔研究〕 第93回新潟県臨床検査学会抄録

〔公益事業参加報告〕

父の日企画「家族で守ろうパパの健康」に参加して

佐渡糖尿病ウォークラリー2019に参加して

糖尿病を知る集いに参加して

高橋由美子

宮崎 勝吉

奈良 佳輝

〔研修会参加報告〕

平成31年度輸血細胞治療部門研修会に参加して

生理検査基礎セミナー2019に参加して

輸血細胞治療部門 輸血検査実技講習会に参加して

令和元年度第1回下越支部研修会に参加して

水野 茜

土田 真也

白川 杏花

大津 桃子

〔施設紹介〕 株式会社 江東微生物研究所新潟支所

古俣竜一郎

〔ペンリレー〕

野澤 昂朗

〔検査技師として～私の奮闘記～〕

小林 泰生、福田 祐介、渡邊 玲音、坂田 理穂、久住 亮介

〔会報〕

2019年度（令和1年度）7月常任理事会議事録

新入会員紹介

新臨技会日誌

〔行事予定〕

314号 令和2年1月1日

〔あいさつ〕 年頭のご挨拶

渡邊 博昭

〔講義〕

12誘導心電図の新たなカタチ 導出18誘導心電図

心電図の歴史から見た追加誘導への要求

QuantiFERON[®] TB ゴールド プラスについて

須藤 二郎

波多 宏幸

〔受賞者のことば〕 第93回新潟県臨床検査学会テーマ賞受賞

菅原 陽子

〔公益事業参加報告〕

「すこやかともしびまつりに参加して」

健康寿命延伸フォーラムに参加して

『ピンクリボンホリデー2019 in 新潟』に参加して

世界糖尿病 Day に参加して

糖尿病を知る集いに参加して

「まちなか健康フェスティバル」「糖尿病を知るつどい」に参加して

「無料 HBA1c 測定会に参加して」

全国「検査と健康展」に参加して

湯本 健史

荒木 諒太

浅野 晴美

柳沢 悦子

山田 将也

田端 篤

五十嵐康之

斎藤 真美

〔第93回新潟県臨床検査学会 特集〕

| | |
|---|-----------|
| 第93回新潟県臨床検査学会一般演題発表デビューされた方 | 桑原喜久男 |
| [第93回県学会 初めて学会発表してみて] | |
| 長井菜々子、安村かほり、小林 若菜、仲村 友絵、岡田はるな、小熊 望、 松浦 芳、羽深 実里 | |
| [第93回新潟県臨床検査学会に参加して] | |
| 「第93回新潟県臨床検査学会に参加して」 | デシルバ ロイ直基 |
| 第93回新潟県臨床検査学会に参加して | 市川由里恵 |
| [報告 第93回新潟県臨床検査学会シンポジウム 医療法改正における各種標準作業書作成の実際 ～各施設の実例紹介～ 参加施設アンケート結果] | |
| [研修会参加報告] | |
| 佐渡支部研修会に参加して | 福原 祐斗 |
| 生理機能検査部門 超音波セミナーに参加して | 下澤 実音 |
| 臨床一般部門・臨床血液部門合同研修会に参加して | 澤渡 哲也 |
| 上越支部研修会に参加して | 小林 泰生 |
| 臨床微生物部門研修会に参加して | 瀬沼 祥輝 |
| 令和元年度 染色体・遺伝子部門研修会に参加して | 山田 隆志 |
| 令和元年度輸血細胞治療部門研修会に参加して | 鈴木 真菜 |
| 令和元年度第1回新潟支部研修会に参加して | 齋藤 愛望 |
| 令和元年度第2回臨床血液部門研修会に参加して | 押山ルミ子 |
| 令和元年度臨床検査総合部門研修会に参加して | 林 嵩憲 |
| [施設紹介] 新潟県立加茂病院 | 佐藤 由美 |
| [認定技師制度紹介] 二級検査士（病理学）について | 高木 祐希 |
| [ペンリレー] | 信田 佳穂 |
| [検査技師として～私の奮闘記～] | |
| 笠原 莉奈、駒形 晴日、佐藤 亮太、樺澤 政也、斎藤 芽衣、渡辺 智紀、 小林 万穂、田中 雄馬、横木 結衣 | |
| [会報] | |
| 2019年度（令和1年度）第4回理事会議事録 | |
| 新入会員紹介 | |
| 新臨技会日誌 | |
| [行事予定] | |

2) 新臨技ニュース 佐藤 卓

理事会議事要旨、組織活動、求人情報など速報性・実用性のある情報を掲載してきた。また掲載情報の正確性・即時性を考慮し、可能な範囲で早く各施設に届くように努めてきた。発行は理事会終了後の月1回とした。

3) 新臨技ホームページ 近藤 善仁

ホームページは研修会案内・各支部活動・お知らせ・求人情報などをリアルタイムに掲載し、ネット環境があれば、いつでも閲覧可能となっている。日臨技からの情報や近隣技師会の研修会、共催や後援事業についても会員にとって有益な場合は掲載した。また、研修会のスライドデータやRCPCの症例など配信の依頼があれば柔軟に対応した。精度管理事業の施設別報告値一覧も Web 上にて公開した。

【主要行動報告】

1. 4月5日 新潟医療福祉大学入学式へ渡邊会長出席
2. 4月5日 新潟医療技術専門学校入学式へ桑原副会長出席
3. 4月10日 北里大学保健衛生専門学院入学式へ坂西副会長出席
4. 4月20日 第1回表彰委員会、第1回学術部門会議
5. 4月20日 第1回理事会
6. 5月14日 篠川至賞選考委員会開催
7. 5月16日 新潟県臨床検査技師会の監査
8. 5月21日 新潟はっぴー乳ライフ実行委員会へ五十嵐理事がWEB参加
9. 5月26日 第11回臨床検査セミナー並びに通常総会
10. 5月26日 第2回理事会
11. 6月6日 糖尿病会主催のイベント会議へ佐藤理事、畔上理事出席
12. 6月15日 第3回理事会
13. 6月21日 日臨技定時総会事前運営打ち合わせ会へ渡邊会長出席
14. 6月22日 日臨技定時総会へ渡邊会長出席
15. 6月22日 新潟県細胞検査士会定例総会へ坂西副会長出席
16. 6月24日 公益財団法人新潟県健康づくり財団第17回定時評議委員会へ渡邊会長出席
17. 6月25日 多職種協働推進委員会へ桑原副会長出席
18. 6月26日 編集委員会開催
19. 6月29日 第1回精度管理委員会開催
20. 7月13日 7月常任理事会
21. 7月13日～14日 日臨技都道府県災害対策研修会に坂西副会長出席
22. 7月19日 北日本支部幹事会（郡山市）へ渡邊会長出席
23. 7月23日 ピンクリボンホリデー2019実行委員会へ五十嵐理事 WEB出席
24. 7月25日 糖尿病関連イベント打ち合わせ会に畔上副会長、田端理事出席
25. 8月6日 令和元年度第1回新潟県臨床検査精度管理協議会に坂西副会長、草間理事出席
26. 8月26日 健康寿命延伸フォーラム打ち合わせ会に桑原副会長出席
27. 9月8日 BSN キッズフェスティバルに神林理事出務
28. 9月14日 第4回理事会
29. 9月17日 ピンクリボンホリデー2019実行委員会へ五十嵐理事 WEB出席
30. 9月17日 令和元年度新潟県検診精度管理調査委員会へ渡邊会長、坂西副会長、畔上副会長、桑原副会長出席
31. 10月4日 令和元年度北日本支部内連絡会議（山形市）へ桑原副会長出席
32. 10月5日 北日本支部学会式典（山形）へ渡邊会長出席
33. 10月9日 第36回がん征圧新潟県大会へ桑原副会長出席
34. 10月14日 健康寿命延伸フォーラムに参画
35. 10月19日 糖尿病関連イベント打ち合わせ会に畔上副会長、田端理事出席
36. 10月20日 ピンクリボンホリデー2019へ参画
37. 10月26日 新潟県医師会設立記念大会へ渡邊会長出席
38. 10月27日 新潟県臨床検査精度管理試料発送
39. 10月27日 第5回理事会

40. 11月10日 まちなか健康フェスティバル HbA1c 測定会へ参画
41. 11月10日 糖尿病を知る集いに参画
42. 11月16日 第93回新潟県臨床検査学会
43. 11月16日 無料 HbA1c 測定会に参画
44. 11月23日 全国検査と健康展
45. 12月9日 第4回精度管理委員会
46. 12月14日～15日 ベットサイド実践講習会
47. 12月17日 ピンクリボンホリデー2019実行委員会へ五十嵐理事 WEB 出席
48. 12月21日 12月常任理事会
49. 12月23日 第3回会誌編集会議
50. 1月11日 第6回理事会
51. 1月24日 日臨技賀詞交換会（東京）へ渡邊会長出席
52. 1月25日 日臨技全国幹事連絡会議（東京）へ渡邊会長出席
53. 1月29日 新潟県精度管理協議会へ坂西副会長、草間理事出席
54. 1月29日 関連団体への新年挨拶回りに渡邊会長、小柳事務局長出務
55. 2月8日 第7回理事会
56. 2月22日 上越支部総会に坂西副会長出席
57. 2月22日 下越支部総会に渡邊会長出席
58. 2月23日 新潟支部総会に畔上副会長出席

事業報告に関わる附属明細書

事業報告を補足する事項はない。

令和元年度収支決算報告

貸借対照表

令和2年3月31日現在

(単位：円)

| 科 目 | 当 年 度 | 前 年 度 | 増 減 |
|---------------|--------------|--------------|-------------|
| I. 資産の部 | | | |
| 1. 流動資産 | | | |
| 現金預金 | 7,947,556 | 10,208,251 | △ 2,260,695 |
| 前払金 | 38,985 | 88,974 | △ 49,989 |
| 流動資産合計 | 7,986,541 | 10,297,225 | △ 2,310,684 |
| 2. 固定資産 | | | |
| 会館建設引当預金 | 15,268,000 | 15,268,000 | 0 |
| 共済基金 | 1,724,000 | 1,724,000 | 0 |
| 篠川至賞基金 | 11,104,741 | 11,104,316 | 425 |
| 固定資産合計 | 28,096,741 | 28,096,316 | 425 |
| 資産合計 | 36,083,282 | 38,393,541 | △ 2,310,259 |
| II. 負債の部 | | | |
| 1. 流動負債 | | | |
| 前受金 | 8,242,000 | 8,294,500 | △ 52,500 |
| 流動負債合計 | 8,242,000 | 8,294,500 | △ 52,500 |
| 2. 固定負債 | | | |
| 固定負債合計 | 0 | 0 | 0 |
| 負債合計 | 8,242,000 | 8,294,500 | △ 52,500 |
| III. 正味財産の部 | | | |
| 一般正味財産 | 27,841,282 | 30,099,041 | △ 2,257,759 |
| (うち特定資産への充当額) | (28,096,741) | (28,096,316) | (425) |
| 負債及び正味財産合計 | 36,083,282 | 38,393,541 | △ 2,310,259 |

正味財産増減計算書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

(単位：円)

| 科 目 | 当年度 | 前年度 | 増減 |
|--------------|-------------------|-------------------|----------------|
| I 一般正味財産増減の部 | | | |
| 1. 経常増減の部 | | | |
| (1) 経常収益 | | | |
| 受取会費 | 8,890,500 | 8,838,500 | 52,000 |
| 正会員受取会費 | 7,650,500 | 7,618,500 | 32,000 |
| 賛助会員受取会費 | 1,240,000 | 1,220,000 | 20,000 |
| 事業収益 | 2,866,500 | 2,423,000 | 443,500 |
| 参加費収益 | 1,666,500 | 1,613,000 | 53,500 |
| 会誌広告収益 | 1,200,000 | 810,000 | 390,000 |
| 受取補助金等 | 1,762,800 | 1,633,410 | 129,390 |
| 受取民間助成金 | 1,762,800 | 1,633,410 | 129,390 |
| 雑収益 | 700,934 | 770,820 | △ 69,886 |
| 受取利息 | 48,449 | 60,820 | △ 12,371 |
| 協賛金収益 | 530,000 | 700,000 | △ 170,000 |
| 雑収益 | 122,485 | 10,000 | 112,485 |
| 経常収益計 | 14,220,734 | 13,665,730 | 555,004 |
| (2) 経常費用 | | | |
| 事業費 | 11,095,358 | 10,918,781 | 176,577 |
| 学会費 | 1,633,354 | 1,760,138 | △ 126,784 |
| 運営費 | 611,223 | 1,004,132 | △ 392,909 |
| 学術部活動費 | 2,332,442 | 2,170,605 | 161,837 |
| 学術雑費 | 124,369 | 131,553 | △ 7,184 |
| 臨床検査精度保証費 | 343,091 | 372,981 | △ 29,890 |
| 会誌発行費 | 3,710,736 | 3,344,566 | 366,170 |
| 広報編集費 | 417,864 | 377,564 | 40,300 |
| 組織広報費 | 1,058,969 | 1,018,151 | 40,818 |
| 災害対策費 | 122,126 | 0 | 122,126 |
| 生涯教育表彰事業費 | 239,259 | 237,201 | 2,058 |
| 組織強化費 | 501,925 | 501,890 | 35 |
| 管理費 | 5,383,135 | 4,635,726 | 747,409 |
| 備品費 | 160,820 | 41,036 | 119,784 |
| 消耗品費 | 99,934 | 93,287 | 6,647 |
| 印刷費 | 511,888 | 328,071 | 183,817 |
| 通信費 | 866,777 | 437,160 | 429,617 |
| 交通費 | 44,670 | 89,580 | △ 44,910 |
| 渉外対策費 | 162,990 | 310,272 | △ 147,282 |
| 給料手当 | 594,000 | 572,000 | 22,000 |
| 会議旅費 | 1,087,340 | 1,119,420 | △ 32,080 |
| 事務所維持管理費 | 1,321,015 | 1,315,557 | 5,458 |

| | | | |
|-----------------|-------------------|-------------------|--------------------|
| 電話費 | 82,383 | 79,975 | 2,408 |
| 事務所雑費 | 7,364 | 6,313 | 1,051 |
| 交際費 | 108,071 | 72,078 | 35,993 |
| 総会費 | 335,883 | 170,977 | 164,906 |
| 雑費 | 0 | 0 | 0 |
| 経常費用計 | 16,478,493 | 15,554,507 | 923,986 |
| 評価損益等調整前当期経常増減額 | △ 2,257,759 | △ 1,888,777 | △ 368,982 |
| 基本財産評価損益等 | | | |
| 特定資産評価損益等 | | | |
| 投資有価証券評価損益等 | | | |
| 評価損益等計 | | | |
| 当期経常増減額 | △ 2,257,759 | △ 1,888,777 | △ 368,982 |
| 2. 経常外増減の部 | | | |
| 当期経常外増減額 | | | |
| 他会計振替額 | | | |
| 当期一般正味財産増減額 | △ 2,257,759 | △ 1,888,777 | △ 368,982 |
| 一般正味財産期首残高 | 30,099,041 | 31,987,818 | △ 1,888,777 |
| 一般正味財産期末残高 | 27,841,282 | 30,099,041 | △ 2,257,759 |
| II 指定正味財産増減の部 | | | |
| III 正味財産期末残高 | 24,841,282 | 30,099,041 | △ 5,257,759 |
| | 27,841,282 | | △ 2,257,759 |

財 産 目 録

令和2年3月31日現在

(単位：円)

| 科 目 | 金 額 | |
|----------------|------------|------------|
| I. 資産の部 | | |
| 1. 流動資産 | | |
| 現金 | 419,580 | |
| 普通預金 | | |
| 第四銀行臨港支店 | 7,368,841 | |
| ゆうちょ銀行 | 159,135 | |
| 前払金 | 38,985 | |
| 流動資産合計 | | 7,986,541 |
| 2. 固定資産 | | |
| 会館建設引当預金 | | |
| 第四銀行臨港支店（定期4口） | 10,000,000 | |
| ゆうちょ銀行（定額5口） | 5,268,000 | |
| 共済基金 | | |
| ゆうちょ銀行（定額3口） | 1,724,000 | |
| 篠川至賞基金 | | |
| 北越銀行県庁支店（定期3口） | 5,003,741 | |
| ゆうちょ銀行（定額3口） | 6,101,000 | |
| 固定資産合計 | | 28,096,741 |
| 資産合計 | | 36,083,282 |
| II. 負債の部 | | |
| 1. 流動負債 | | |
| 前受金 | 8,242,000 | |
| 流動負債合計 | | |
| 2. 固定負債 | 0 | |
| 固定負債合計 | | 0 |
| 負債合計 | | 8,242,000 |
| 正味財産 | | 27,841,282 |

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

| 科 目 | 前期末残高 | 当期増加額 | 当期減少額 | 当期末残高 |
|----------|------------|-------|-------|------------|
| 基本財産 | | | | |
| 小 計 | - | - | - | - |
| 特定資産 | | | | |
| 会館建設引当預金 | 15,268,000 | - | | 15,268,000 |
| 共済基金 | 1,724,000 | - | | 1,724,000 |
| 篠川至賞基金 | 11,103,316 | 425 | | 11,103,741 |
| 小 計 | 28,095,316 | 425 | | 28,095,741 |
| 合 計 | 28,095,316 | 425 | | 28,095,741 |

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

| 科 目 | 当期末残高 | (うち指定正味財産からの充当額) | (うち一般正味財産からの充当額) | (うち負債に対応する額) |
|----------|------------|------------------|------------------|--------------|
| 基本財産 | | | | |
| 小 計 | - | - | (-) | - |
| 特定資産 | | | | |
| 会館建設引当預金 | 15,268,000 | - | (15,268,800) | - |
| 共済基金 | 1,724,000 | - | (1,724,000) | - |
| 篠川至賞基金 | 11,104,741 | - | (11,104,741) | - |
| 小 計 | 28,096,741 | - | (28,096,741) | (-) |
| 合 計 | 28,096,741 | - | (28,096,741) | (-) |

4. 助成金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

助成金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりです。

(単位：円)

| 補助金等の名称 | 交付者 | 前期末残高 | 当期増加額 | 当期減少額 | 当期末残高 | 貸借対照表上の記載区分 |
|---------------|-------------|-------|-----------|-----------|-------|-------------|
| 助成金 | | | | | | |
| 受取検査学会研修助成金 | 日本臨床衛生検査技師会 | 0 | 1,562,800 | 1,562,800 | 0 | |
| 受取臨床検査精度保証助成金 | 新潟県医師会 | 0 | 200,000 | 200,000 | 0 | |
| 合 計 | | 0 | 1,762,800 | 1,762,800 | 0 | |

計算書類に係わる附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表に対する注記2「基本財産及び特定資産の増減及びその残高」及び注記3「基本財産及び特定資産の財源等の内訳」に記載しているため省略する。

【上越支部】

1 秋季研修会：第113回上越支部研修会（生涯教育認定 専門20点）

日時：令和元年8月24日（土）

会場：上越市 市民プラザ 第2会議室

講演1

・感染症項目の精度管理について ACCURUN シリーズ

日立化成ダイアグノステイクス・システムズ（株）木村 育夫 先生

講演2

・採血ガイドライン改訂と安全な採血を行うための知識

BML 総合研究所 山崎 家春 先生

参加者 35名

2 春季研修会：第114回上越支部研修会（生涯教育認定 専門20点）

日時：令和2年2月22日（土）

会場：高陽荘

講演1

・新潟県におけるウイルス性肝炎の状況～肝疾患診療体制の確立～

新潟大学大学院医歯学総合研究科 消化器内科学分野肝疾患相談センター

特任助教 薛^{せつ} 徹^と先生

講演2

・押さえておきたい免疫検査の基礎とピットフォール

アボットジャパン株式会社 学術情報室 青木 和雄 先生

参加者名 44名

研究班活動

1 検体研究班（臨床化学部門・微生物部門 生涯教育認定 専門20点）

日時：令和元年10月10日（木）

会場：新潟労災病院3階会議室

・血流感染症と血液培養について

日本ベクトン・ディッキンソン（株）DS事業部学術担当 小林 郁夫 先生

参加者 18名

2 形態検査研究班（血液部門・血清部門・病理部門・一般部門 生涯教育認定 専門20点）

日時：令和元年11月29日（金）

会場：県立中央病院2階講堂

・尿検査～尿定性・尿沈渣～

新潟県立中央病院 臨床検査科 羽深 実里 技師

参加者 40名（非会員3名を含む）

3 生理検査研究班（生理検査部門 生涯教育認定 専門20点）

日時：令和元年10月24日（木）

会場：上越総合病院2階講堂

・ホルター検査で見られるペースメーカー特殊機能

フクダ電子（株）寒河江 大介 先生

参加者 24名

地域保健活動

第56回上越糖尿病内分泌研究会

日時：令和元年9月25日（水）

会場：上越市 市民プラザ

『病院、診療所、地域での栄養・運動指導の取組について』

『糖尿病治療における最近の話題～患者さんのやる気スイッチはどこ？～』

第40回上越循環器談話会

日時：令和元年11月15日（金）

会場：ホテルセンチュリーイカヤ

『地域連携で実現する心不全の緩和ケア』

広報活動（上越支部会員向け）

支部だよりを第216号から第219号まで計4回発行。

役員会議

2019年（平成31年・令和元年）

4月25日（木）定例役員会

5月29日（水）定例役員会（拡大）

6月27日（木）定例役員会

7月25日（木）定例役員会

9月30日（木）定例役員会

11月25日（月）定例役員会

2020年（令和2年）

1月30日（木）定例役員会

平成31（令和元）年度通常総会

日時：令和2年2月22日（土）

会場：高陽荘

参加者 35名

【中越支部】

〈研修会〉

1) 2019年度中越支部講演会 [生涯教育認定 基礎20 参加 50名]

日時：2019年3月9日（土）14：00～16：00

場所：立川総合病院 3階 講堂

講演Ⅰ：「バリデーションソフト Validation-Support-V3.5で用いる精度管理用語の基礎理解」

講師 北里大学保健衛生専門学院 小林 浩二 先生

講演Ⅱ：「R-CPC ～検査データの見かた～」

講師 新潟医療技術専門学校 伊藤 正行 技師

2) 中越支部フォーラム [生涯教育 基礎20 参加 39名]

日時：2019年7月6日（土）14：00～17：00

場所：立川総合病院 3階 講堂

講演Ⅰ：「診療報酬と保険点数の仕組み、2025年問題とこれからの臨床検査技師にできること」

講師 シーメンスヘルスケア株式会社 松尾 久昭 先生

講演Ⅱ：「対処に困った事例 ～しくじらないために知っておこう～」

講師 県立十日町病院 草間 孝行 技師

講演Ⅲ：「臨床検査技師会の活動について」

講師 新潟県臨床検査技師会 桑原喜久男 副会長

3) 中越支部ふれあい研修会 [生涯教育認定 基礎20 参加 37名]

日時：2019年12月7日（土）14：00～17：00

場所：厚生連長岡中央総合病院 講堂

講演Ⅰ：「LD・ALPのIFCC法について」

講師 関東化学株式会社 藤本 真暢 先生

講演Ⅱ：「STEP UP! ～さらなる資格取得を目指す方へ～」

講師 ①臨床化学・免疫精度保証認定技師……魚沼基幹病院 馬場 満 技師

②認定救急検査技師……長岡赤十字病院 鈴木 恵美 技師

③認定心電検査技師……済生会三条病院 桑原喜久男 技師

④ローカル糖尿病療養指導士……長岡中央総合病院 石井 幸恵 技師

〈学術支援事業〉

今年度は1団体：中越支部精度管理研究会より学術支援の依頼があり、中越支部理事会にて承認した。2020年2月1日に立川総合病院にて「第1回中越支部精度管理研修会」が開催され、約40名の中越支部会員が参加し、たいへん盛況であった。

〈通常総会〉

1) 2019年度中越支部通常総会 [生涯教育 基礎30 参加 38名]

2019年3月9日（土）16：00～17：00 立川総合病院 3階 講堂

議長 藤原 喜志 技師（見附市立病院）

議事 ① 2018年度事業・決算・監査報告

② 2019年度事業計画・予算案提案

③ 2019・2020年度中越支部役員選出案

以上の議案について審議され、原案どおり承認された。

〈公益事業〉

1) 父の日企画「家族で守ろうパパの健康」 [生涯教育 基礎20 参加ボランティア技師 16名]

2019年6月16日（日）11：00～15：30 リバーサイド千秋 1階 リバーサイドコート

主催：ヘルシープラン21実行委員会・長岡市福祉保健部健康課

体組成測定、血糖値測定、CO測定、血管測定を実施

来場者数 232名

2) 第33回糖尿病を知るつどい [生涯教育 基礎20 参加ボランティア技師 10名]

2019年7月20日(土) 12:00~16:00 長岡リリックホール(シアター)

主催:長岡市医師会

来場者 238名

来場者の血糖値測定 約120名

3) すこやかともしびまつり 2019 [生涯教育 基礎20 参加ボランティア技師30名]

2019年9月28日(土)・29日(日) 両日10:00~16:00 アオーレ長岡

主催:長岡市

来場者の肺年齢測定 851名

4) 「世界糖尿病デー2019 in 長岡」 [生涯教育 基礎20 参加ボランティア技師 10名]

2019年11月4日(祝) 13:00~17:00 アオーレ長岡

主催:長岡市医師会

来場者の血糖測定 90名・HbA1c 測定 80名

〈支部理事会〉

第1回役員会 2019年4月25日(木) 18:30~ 長岡赤十字病院 会議室

議題:支部理事担当職務について

支部フォーラム企画内容について

今年度公益事業参加予定について

第2回役員会 2019年5月23日(木) 18:30~ 長岡赤十字病院 会議室

議題:第11回臨床検査セミナー・通常総会について

公益事業「父の日企画」について

支部フォーラム企画内容について

第3回役員会 2019年6月27日(木) 18:30~ 長岡赤十字病院 会議室

議題:公益事業「父の日企画」総括

支部フォーラムについて

公益事業「糖尿病知るつどい」について

第4回役員会 2019年7月25日(木) 18:30~ 長岡赤十字病院 会議室

議題:支部フォーラム総括、ふれあい研修会内容について

公益事業「糖尿病を知るつどい」総括

公益事業「すこやかともしびまつり2019」について、

第5回役員会 2019年8月22日(木) 18:30~ 長岡赤十字病院 会議室

議題:公益事業「すこやかともしびまつり2019」について

公益事業「世界糖尿病デーin 長岡2019」について

ふれあい研修会内容について

第6回役員会 2019年9月26日(木) 18:30~ 長岡赤十字病院 会議室

議題:公益事業「すこやかともしびまつり2019」について

公益事業「世界糖尿病デーin 長岡2019」について

ふれあい研修会内容について

第7回役員会 2019年10月24日(木) 18:30~ 長岡赤十字病院 会議室

議題:公益事業「世界糖尿病デーin 長岡2019」について

ふれあい研修会内容について

中越支部講演会・通常総会について

第8回役員会 2019年11月28日(木) 18:30~ 長岡赤十字病院 会議室

議題: ふれあい研修会内容確認

中越支部講演会・通常総会について

学術支援事業について

第9回役員会 2019年1月23日(木) 18:30~ 長岡赤十字病院 会議室

議題: ふれあい研修会総括

中越支部講演会・通常総会について

学術支援事業について

第10回役員会 2019年2月27日(木) 18:30~ 長岡赤十字病院 会議室

議題: 中越支部講演会・通常総会について

【下越支部】

〈研修会等〉

(1) 第1回支部研修会

日時: 令和元年7月27日(土) 14:00~16:30

場所: (一財)下越総合健康開発センター 2階 大講堂

内容: 1. 標準採血ガイドライン(GP4-A3)の特徴と変更点

講師 積水メディカル株式会社 須長 宏行

2. 採血・採血管取り扱いに由来する検査値への影響と注意点

講師 積水メディカル株式会社 須長 宏行

参加者: 45名(会員42名)

生涯教育認定 基礎20点

(2) 第2回支部研修会

日時: 令和元年12月14日(土) 14:00~16:30

場所: 新潟医療福祉大学 顕微鏡室 N511

内容: 1. 知っておきたい尿沈渣の基礎知識と尿沈渣鏡検

講師 部門員 小野 篤史 技師

部門員 齋藤 直子 技師

部門員 計良 政裕 技師

参加者: 36名(会員35名)

生涯教育認定 基礎20点

(3) 第3回支部研修会および総会

日時: 令和2年2月22日(土) 13:30~17:00

場所: (一財)下越総合健康開発センター 2階 大講堂

内容: 1. 性感染症の現状~HIV感染者「ゼロ」を目指した最新の知見~

講師 シスメックス株式会社 原 敬志

2. クレーム対応の基礎~患者さんの満足度を高める苦情対応~

講師 アボットジャパン合同会社 小菅 陽子

参加者: 30名(会員20名)

生涯教育認定 基礎20点

内容: 下越支部通常総会

参加者：17名

生涯教育認定 基礎30点

〈下越支部役員会〉

今年度は、支部研修会打ち合わせ等で7回開催した。

- 第1回役員会 令和元年4月22日（月）16：00～ 下越総合健康開発センター
- 第2回役員会 令和元年6月27日（木）16：00～ 下越総合健康開発センター
- 第3回役員会 令和元年7月27日（土）12：30～ 下越総合健康開発センター
- 第4回役員会 令和元年9月25日（水）16：00～ 下越総合健康開発センター
- 第5回役員会 令和元年12月14日（土）12：30～ 新潟医療福祉大学
- 第6回役員会 令和2年1月15日（水）16：00～ 下越総合健康開発センター
- 第7回役員会 令和2年2月22日（土）12：00～ 下越総合健康開発センター

【佐渡支部】

〈研修会等〉

1) 研修会

日時 令和元年8月3日（土）13：30～（受付13：00～）

会場 佐渡総合病院 2階 講堂

内容 1. 講演 「睡眠時無呼吸症候群（SAS）について」

講師 帝人在宅医療（株）在宅医療高崎支店 脇屋 佑一 先生

座長 JA 新潟厚生連羽茂病院 山田 将也 技師

2. 講演 「認知症を知る～臨床検査技師として～」

講師 JA 新潟厚生連小千谷総合病院 寺島 健 先生

座長 JA 新潟厚生連羽茂病院 山田 将也 技師

2) 支部総会・研修会

日時 令和2年3月7日（土）16：30～（受付16：00～）

会場 佐渡総合病院 2階 講堂

※ COVID-19の影響により、本年度は総会のみで開催となりました。

〈公益事業〉

1) 令和元年6月9日（日）「佐渡糖尿病ウォークラリー2019」

2) 令和元年11月9日（土）「糖尿病を知る集い」

〈支部役員会〉

- 第1回役員会 令和元年4月11日（木）
- 第2回役員会 令和元年5月7日（火）
- 第3回役員会 令和元年7月24日（水）
- 第4回役員会 令和元年10月29日（火）
- 第5回役員会 令和2年1月23日（木）

【新潟支部】

〈研修会等〉

(新潟支部会)

【令和元年度第1回新潟支部研修会】2019/10/26

参加人数：32名

① ISO取得とSOP

猪俣 記一 (sysmex 株式会社)

② ISO取得経験談とポイント

星山 良樹 (新潟大学附属病院臨床検査科)

【令和元年度第2回新潟支部研修会】2020/02/23

参加人数：50名

学生でもわかる放射線画像

能登 義幸 (新潟大学医歯学総合病院放射線部門 副技師長)

(臨床化学研究班)

なし

(血液研究班)

なし

(生理研究班)

【心電図セミナー2019】2019/3/17

参加人数：84名

① 緊急報告心電図を診る

高野小百合 (社会医療法人河北医療財団 河北総合病院)

② 自律神経興奮と心電図指標

斎藤 修 (新潟大学医学部保健学科)

③ ペースメーカー心電図の基礎と臨床

山田 宣幸 (三菱京都病院)

④ 症例検討会

【新潟支部研修会】2019/12/8

参加人数：42名

① 未経験者のための心エコー

小林 絃子 (新潟大学医歯学総合病院 診療支援部 臨床検査部門)

② 臨床検査技師さんに知ってほしい放射線画像

能登 義幸 (新潟大学医歯学総合病院 診療支援部 放射線部門)

(一般検査研究班)

【新潟支部第45回一般検査研修会】2019/7/10

参加人数：28名

① スライドクイズ 提示

小野 篤史 (済生会新潟病院)

② 全国学会・スキルアップセミナー報告

白川千恵子 (新潟医療技術専門学校)

③ 髄液検査の基礎を学ぶ

深谷 響己 (新潟大学医歯学総合病院)

④ スライドクイズ 解答

小野 篤史 (済生会新潟病院)

⑤ その他、諸連絡など

【新潟支部第46回一般検査研修会】2019/10/8

参加人数：21名

① スライドクイズ 提示

白川千恵子 (新潟医療技術専門学校)

- ② 北日本一般研修会報告 河野 良平 (下越病院)
- ③ 尿定性試験について 片瀬 優子 (アークレイマーケティング株式会社)
- ④ スライドクイズ 解答 深谷 馨己 (新潟大学医歯学総合病院臨床検査部門)
- ⑤ その他、諸連絡など

【新潟支部第47回一般検査研修会】 2019/11/23

参加人数：40名

- ① 上皮細胞編 野崎 司 (東海大学医学部付属病院)
- ② RCPC 学会参加報告 野崎 司 (東海大学医学部付属病院)
- ③ 異型細胞編 野崎 司 (東海大学医学部付属病院)
- ④ スライドカンファレンス 野崎 司 (東海大学医学部付属病院)

病理研究班
(病理技術研究班)

【第40回 新潟病理技術研究会】 2019/ 3 /16

参加人数：24名

- ① スライドガラスのデジタル画像活用例 田村 哲 (パスイメージング株式会社)
- ② 脱水・脱脂・パラフィン新党 (Processing) のコツとポイント 篠田 宏 (サクラファインテックジャパン株式会社)
- ③ ホルマリン固定による核酸品質への影響 畔上 公子 (県立がんセンター新潟病院)
- ④ 脳血管障害の病理 武田 茂樹 (新潟脳外科病院)

【第41回 新潟病理技術研究会】 2020/ 2 / 1

参加人数：31名

- ① コントロール切片の使用法について 長谷川秀浩 (新潟医療センター)
川口 洋子 (県立がんセンター新潟病院)
高頭 秀吉 (長岡赤十字病院)
- ② 病理検査と化学の関係性によるキシレンフリーの新しい包埋処理方法 丸山 拓二 (白井松器械株式会社)
- ③ 病理診断における免疫染色の精度管理と応用 芹澤 昭彦 (東海大学医学部付属病院 病理検査技術科)

(微生物検査研究班)

【第130回新潟支部微生物研究会】 2019/ 9 /25

参加人数：13名

- ① 近年話題の感染症抗体検査、抗原検査、遺伝子検査の特徴と選び方、結果の読み方
一麻しん、風しん、その他の感染症について 飯田 慶治 (エスアールエル株式会社)

(公益活動、その他)

【令和元年度新潟支部定期総会】 2020/ 2 /23

参加人数：36名

【新潟支部情報交換会】 2020/ 2 /23 鉄板焼き Ekyu

参加人数：30名

(総会及び幹事会)

1) 支部定期総会・第1回 新潟支部幹事会

平成31年2月16日(土) 新潟大学医学部第一講義室(西講義棟 1階)

2) 第2回 新潟支部幹事会

平成31年3月20日(水) 18:30~ 新潟県臨床検査技師会事務所

3) 第3回 新潟支部幹事会

平成31年4月17日(水) 18:30~ 新潟県臨床検査技師会事務所

4) 第4回 新潟支部幹事会

令和元年5月15日(水) 19:00~ 新潟県臨床検査技師会事務所

5) 第5回 新潟支部幹事会

令和元年6月26日(水) 19:00~ 新潟県臨床検査技師会事務所

6) 第6回 新潟支部幹事会

令和元年7月17日(水) 19:00~ 新潟県臨床検査技師会事務所

7) 第7回 新潟支部幹事会

令和元年9月18日(水) 19:00~ 新潟県臨床検査技師会事務所

8) 第8回 新潟支部幹事会

令和元年11月20日(水) 19:00~ 新潟県臨床検査技師会事務所

9) 第9回 新潟支部幹事会

令和元年12月11日(水) 19:00~ 新潟県臨床検査技師会事務所

10) 第10回 新潟支部幹事会

令和2年1月15日(水) 19:00~ 新潟県臨床検査技師会事務所

11) 第11回 新潟支部幹事会

令和2年2月19日(水) 19:00~ 新潟県臨床検査技師会事務所

12) 支部定期総会

令和2年2月23日(日) 新潟大学医歯学総合病院 12階 大会議室

第3号議案

公益目的支出計画変更決議案

平成26年4月1日に一般社団法人に移行した際、財産は公益目的事業に使用することとなりました。6年間実施し、令和2年3月31日で終了予定でした。しかし、検査学会研修事業（継続事業1）の研修参加者の増加に伴い、参加費収入や研修会の助成金が収入計画より増加したが、研修会開催に係る経費が収入増加分より増えなかったため、計画完了年度を令和3年3月31日と1年延長したい。

第4号議案

固定資産を流動資産へ移行決議案

公益事業の増加に伴い、固定資産の会館建設引当預金から50万円を流動資産に移行したい。

第5号議案

支部提出議案について

各支部からの提出議案はなかった。

第6号議案

日臨技定時総会提出議案について

日臨技定時総会への提出議案はない。

令和2年度事業計画

会長

渡邊 博昭

2020年度は役員任期後期であり、基本的には事業をそのまま引き継ぎ、とどこおりなく会務を遂行する。
新規または重要な事業を下記の通り計画する。

総務部

- ① 引き続き一般社団法人移行に伴っての問題点を検証する。
- ② 引き続き規定および手順書の検証をする。
- ③ 文書発送作業および発送費用の増加が顕著なため、メール配信およびホームページによる情報提供に切り替える。

学術部

- ① 第94回新潟県臨床検査学会の企画・運営を行う。
- ② ニューリーダーの育成や職能向上・職能開発、認知症検査に関わる講習会を開催する。
- ③ 検査研究部門活動の助成金申請を20研修会申請する。

広報部

- ① ホームページのさらなる充実を図る。
- ② 文書発送のメール配信への移行を図る。

1. 会務の執行体制

2020年度は役員任期後期にあたるが、円滑な業務運営を進めるためにも、各種規定・マニュアル等の周知に努めたい。

また、活動の要である事務局機能は各県技師会および日臨技との連絡・調整の場として、更なる会員サービスの向上に努めたい。組織強化の面からは、日臨技、北日本支部、新臨技支部、会員各位と協力しながら情報交換を図り、一人でも多くの会員から技師会の意義を感じ取ってもらえる環境・体制を整えたい。

2. 諸会議

1) 理事会・常任理事会

連携を密にするためにも、会議時間の短縮や運営方法を再検討しながら、総会に次ぐ議決機関として理事会・常任理事会を開催したい。

2) 三役会議・各部会議

諸会議の立案や各種業務内容の検討・調整を図るため、必要に応じて適宜開催する。

3) 各種委員会

本会活動の要としての役割を担っており、本年度も更に活発に運営していきたい。

災害支援マニュアルにある災害支援メーリングリストは、災害時の支援活動や会員の安否確認に威力を発揮できるものであり、会員登録者を増やしていきたい。

3. 組織対策

1) 臨床検査セミナー

通常総会と同時開催する臨床検査セミナーは、技師会事業として定着している。最新の医療トピックスや臨床検査技師の卒後教育等の内容で企画し、自己研鑽の場として今後も積極的に開催していきたい。

2) 各支部との連携

各支部持ち回りの新潟県臨床検査学会開催については、会場確保および参加人数等の問題もあり、第91回から新潟市で開催している。これにより、更なる学術部と支部との連携を強化するとともに、より多くの会員参加を募り、本会の事業方針の展開と臨床検査の発展を目指したい。

3) 入会対策

益々厳しくなる医療情勢ではあるが、職能団体としての機能をさらに発揮するためには組織拡大と成熟が重要であり、各支部各施設の理解と協力を得ながら新入会員を確保していきたい。

また、臨床検査技師のさらなる地位向上および職域拡大を進めるためにも、臨床検査技師連盟への入会促進に積極的に働きかけていく。

4. 公益活動（地域保健医療活動）

一般社団法人として県民の保健・医療・公衆衛生の更なる向上を目指していく。臨床検査技師として、社会貢献の取り組み、全国検査と健康展など日臨技事業の開催、関連職種団体との連携強化を進め、本年度も地域保健医療活動に積極的に参画していく。

5. 求人情報の提供

会員へは新臨技ニュースやホームページ等で求人情報を提供したい。

6. 表彰関係

1) 篠川至賞

2020年度で第38回となる篠川至賞は、その制定主旨により、各支部からの推薦者の中から篠川至賞選考委員会の審査を経て表彰されるものであり、会員の励みにもなっている。検査研究部門からも情報協力いただき、各支部からの積極的な推薦のうえ表彰する。

2) 会長表彰

特別功労表彰、永年会員功労表彰は、新臨技表彰規定に基づき、それぞれの基準に該当する者について表彰委員会の審査を経て、毎年の通常総会において表彰する。

3) 生涯教育奨励賞

多くの会員の生涯教育および学術活動への参画と活性化を求めべく、分野に関わらず最多得点者の上位3名を表彰する。

4) 生涯教育新人賞

臨床検査教育の場としての研修会等への参加を通じ、更なる技師会活動への参画に期待し、分野に関わらず20代会員の最多得点修了者を表彰する。

学術部

副会長 桑原喜久男

令和2年度活動計画

第94回新潟県臨床検査学会を11月8日(日)、朱鷺メッセ新潟コンベンションセンターにて開催する。多くの会員から一般演題発表をお願いしたい。検査研究部門は新潟県臨床検査学会において教育セミナー等の企画、運営を担当いただく。精度管理は日臨技のシステムを用い、新臨技HPにて結果の閲覧等、事務手続き等の簡素化を進めたい。検査研究部門研修会や支部研修会は臨床検査技師を取り巻く社会の変化やニーズに対応できる知識、スキルを学ぶ機会を設け、日臨技の生涯教育推進事業20研修会の申請、承認を目指す。

1. 学会

桑原喜久男

第94回新潟県臨床検査学会を11月8日(日)、朱鷺メッセ新潟コンベンションセンターを会場に開催する。一般演題を多くの会員からご発表頂けるようお願いしたい。第94回では多くの会員にご参加いただけるようなTopicを盛り込んだ企画、教育講演を計画したい。賛助会員からの機器展示やランチョンセミナーも募集し、学会参加を機会に会員同士が情報の共有、会員同士の融和が築ける学会としたい。

2. 検査研究部門

中村 岳史

検査研究部門が企画運営する研修会は、技師会における重要な活動の一つである。医療制度や検査技術が、日々変化していく医療現場においては新たな知識や技術を習得し実践していくことが極めて重要である。そのため、検査研究部門が企画運営する各種研修会が担う役割は大きい。

検査研究部門は、生物化学分析部門、臨床一般部門、臨床血液部門、臨床微生物部門、輸血細胞治療部門、病理細胞部門、染色体・遺伝子部門、臨床生理部門(神経生理分野、呼吸・循環生理分野、超音波分野)、臨床検査総合部門の9部門3分野で構成され、各部門の活動費は12万円、各分野は8万円とする。

研修会参加費は、当事者負担の原則の下で過剰な負担が及ばない程度で運営経費を補完する。非会員の研修会参加費は会員の3倍とし、会員利益と活動費補完をはかる。また、参加は会員優先とし、特に人気の高い実習形式研修会では会員に不利益が生じないものとする。

研修会の内容は、若手技師向けの基礎的内容から専門性を高める内容、最新の情勢を踏まえた内容や認定資格取得教育など、様々な状況下にある会員に有益で魅力的な研修会をバランスよく開催できるよう体制を整備し、企画運営にあたる。また、例年の参加者数を鑑みると実技研修のニーズは高く、講演に加えて実習形式による研修会を推進し、知識面・技術面の両側面でのレベルアップを目指した研修会の企画を奨励する。技術や知識が複数の分野に係る内容に関しては、複数部門での合同研修会や他団体との共催による研修会を企画するなど幅広い知識や技術を習得できる、会員にとって魅力ある活発な学術活動を展開していきたい。

3. 精度管理事業

坂西 清

本事業は新潟県医師会が新潟県から委託を受け、新潟県臨床検査精度管理協議会を設置して推進している事業である。本会としては、地域医療への貢献と会員の技術向上という点から重要な事業であるという位置づけで積極的に協力していく。

2020年度も臨床化学、微生物、血球計算、血液フォトサーベイ、一般フォトサーベイをさらに充実させ実施を予定している。今年度は精度保証という観点を考慮した精度管理事業を展開していきたい。昨年度、システムの不備で参加施設にご迷惑をおかけした。今年度は事前にシステムを活用したシミュレーションを実施したうえでサーベイを実施していきたい。また臨床検査室精度保証認証制度・共用基準範囲についても多くの施設の理解が得られるよう啓発を進めていきたい。

4. 生涯教育

近藤 善仁

生涯教育研修制度は、臨床検査技師の知識や技術水準の維持・向上を目的とし、会員の自発的な学習を組織的に援助する制度である。会員は定められた履修期間・カリキュラムを基に履修点数を取得する。また、ボランティア活動や臨床検査の普及のための啓発活動などに対して生涯教育行事登録を行い、活動を支援している。昨年度に引き続き、日臨技情報総合システム（JAMTIS）の運用および「生涯教育推進研修会助成金」の申請と助成金受領の支援を図っていく。

広報部

副会長 坂西 清

2020年度も新臨技会誌、新臨技ニュース、新臨技ホームページの3本柱での運営を通して会員へ向けたレスポンスの良い情報を例年通り安定提供したい。また、ホームページの情報発信においては会員に有益な情報をいち早く提供していきたい。会誌においては様々な企画を取り入れながらも投稿規定を見直し、学術重視の会誌を目指していきたい。県理事、各支部理事、会員全員で情報の共有化を尚一層強化するためにも、新臨技会誌、新臨技ニュース、新臨技ホームページを充実させていきたい。

また、当会より様々な文書を各施設・個人会員へ発送しているが、令和元年10月1日より消費税が10%に引き上げられたことにより、配送費の値上がり、紙代の高騰も加わり、文書発送にかかる経費がこれまでと比べ多額になる。文書の配送に費やす時間と労力は非常に大きく、会務執行に支障を来すことが危惧される。今後準備ができ次第、各施設・個人会員への発送文書をメールでの配信へ移行し、経費削減と担当者の労務軽減へつなげたい。

1) 新臨技会誌

神林 真弓

会誌発行は315号から318号までの年4回季刊発行を予定する。

〔講義・研究〕引き続き基礎から専門分野まで幅広く焦点を当てて掲載していきたい。

〔研修会参加報告〕今年度も参加会員の協力のもと、情報提供や会員の研鑽の頁としたい。

〔ペンリレー〕〔新入会員紹介〕〔検査技師として～私の奮闘記～〕

会員同士の親睦をはかり、多くの方が参加できるツールとしたい。

〔公益活動報告〕公益活動の大切さを知り、ボランティア活動にも積極的に参加していただけるような内容にしたい。

〔認定検査技師制度〕認定取得者からの経験談やアドバイスを掲載し、各種認定取得を目指している多くの会員を支援したい。

〔施設紹介〕臨床検査技師の活躍の場としてあらゆる地域と施設を紹介していきたい。

〔学会参加報告〕学会で発表することの意義や思い、当日までのプロセスなどを掲載し、これから発表を考えている人たちの参考となるような頁にしたい。

2) 新臨技ニュース

佐藤 卓

理事会議事録、組織活動、求人情報など速報性・実用性のある内容を掲載していきたい。また、今後も広く会員に読まれるような読みやすいレイアウトを心がけるように、工夫していきたい。発行目安は月1回とし、理事会終了後、速やかに発行できるよう努めたい。

3) 新臨技ホームページ

近藤 善仁

ホームページは研修会案内・各支部活動・お知らせ・求人情報などをリアルタイムに掲載し、ネット環境があれば、いつでも閲覧可能となっている。昨今のスマートフォンの普及により、サイトへのアクセスも増加し、ページ内容への期待も増えている。また、前回のリニューアルから10年が経過していることから、再リニューアルも視野に新規コンテンツなどを検討して活発な運用を目指していく。また、当技師会は、大規模災害に備え災害時緊急連絡システム（メーリングリスト）を構築しているが、登録者が伸び悩んでおり会員の10%も満たない現状である。引き続き一人でも多くの会員の登録をお願いする。（詳細は新臨技ホームページ参照）

令和2年度収支予算書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位：円)

| 科 目 | 予算額 | 前年度予算額 | 増減 | 摘要 |
|--------------|-------------------|-------------------|------------------|-------------------------|
| I 一般正味財産増減の部 | | | | |
| 1. 経常増減の部 | | | | |
| (1) 経常収益 | | | | |
| 受取会費 | 8,705,000 | 8,870,000 | △ 165,000 | |
| 正会員受取会費 | 7,425,000 | 7,590,000 | △ 165,000 | 1,350名×5,500 |
| 賛助会員受取会費 | 1,280,000 | 1,280,000 | 0 | 64社 |
| 事業収益 | 2,400,000 | 2,800,000 | △ 400,000 | |
| 参加費収益 | 1,800,000 | 1,800,000 | 0 | 学会費300名×2,000、検査研究部門参加費 |
| 会誌広告収益 | 600,000 | 1,000,000 | △ 400,000 | 会誌広告 |
| 受取補助金等 | 1,200,000 | 1,200,000 | 0 | |
| 受取民間助成金 | 1,200,000 | 1,200,000 | 0 | 日臨技、医師会 |
| 雑収益 | 205,000 | 205,000 | 0 | |
| 受取利息 | 5,000 | 5,000 | 0 | |
| 協賛金収益 | 100,000 | 100,000 | 0 | 学会展示 |
| 雑収益 | 100,000 | 100,000 | 0 | 祝儀等 |
| 経常収益計 | 12,510,000 | 13,075,000 | △ 565,000 | |
| (2) 経常費用 | | | | |
| 事業費 | 10,270,000 | 11,770,000 | △ 1,500,000 | |
| 学会費 | 1,000,000 | 1,000,000 | 0 | 第94回新潟県学会 |
| 運営費 | 1,000,000 | 1,000,000 | 0 | 臨床検査セミナー |
| 学術部活動費 | 2,500,000 | 2,500,000 | 0 | 研究部門活動費 |
| 学術雑費 | 120,000 | 120,000 | 0 | 源泉徴収税等 |
| 臨床検査精度保証費 | 450,000 | 450,000 | 0 | 新潟県精度管理事業 |
| 会誌発行費 | 2,600,000 | 4,100,000 | △ 1,500,000 | 会誌4号 |
| 広報編集費 | 700,000 | 700,000 | 0 | 広報委員会、HP維持管理費 |
| 組織広報費 | 900,000 | 900,000 | 0 | 各支部公益事業負担 |
| 災害対策費 | 200,000 | 200,000 | 0 | |
| 生涯教育表彰事業費 | 200,000 | 200,000 | 0 | 賞状作成費等 |
| 組織強化費 | 600,000 | 600,000 | 0 | 各支部助成金 |
| 管理費 | 6,530,000 | 6,530,000 | 0 | |
| 備品費 | 200,000 | 200,000 | 0 | |
| 消耗品費 | 100,000 | 100,000 | 0 | 文房具、封筒 |
| 印刷費 | 600,000 | 600,000 | 0 | 各種案内 |
| 通信費 | 800,000 | 800,000 | 0 | 案内発送 |
| 交通費 | 350,000 | 350,000 | 0 | 日臨技、北日本会議 |
| 渉外対策費 | 300,000 | 300,000 | 0 | 関連団体、支部対策 |
| 給料手当 | 650,000 | 650,000 | 0 | 事務職員 |
| 会議旅費 | 1,300,000 | 1,300,000 | 0 | 理事会旅費 |
| 事務所維持管理費 | 1,750,000 | 1,750,000 | 0 | 賃貸料、電気代 |

| | | | | |
|-----------------|-------------------|-------------------|--------------------|---------|
| 電話費 | 120,000 | 120,000 | 0 | |
| 事務所雑費 | 30,000 | 30,000 | 0 | |
| 交際費 | 150,000 | 150,000 | 0 | 関連団体慶弔費 |
| 総会費 | 150,000 | 150,000 | 0 | |
| 雑費 | 30,000 | 30,000 | 0 | |
| 経常費用計 | 16,800,000 | 18,300,000 | △ 1,500,000 | |
| 評価損益等調整前当期経常増減額 | △ 4,290,000 | △ 5,225,000 | 935,000 | |
| 基本財産評価損益等 | | | | |
| 特定資産評価損益等 | | | | |
| 投資有価証券評価損益等 | | | | |
| 評価損益等計 | 0 | | | |
| 当期経常増減額 | △ 4,290,000 | △ 5,225,000 | 935,000 | |
| 2. 経常外増減の部 | | | | |
| 当期経常外増減額 | 0 | | | |
| 他会計振替額 | | | | |
| 当期一般正味財産増減額 | △ 4,290,000 | △ 5,225,000 | 935,000 | |
| 一般正味財産期首残高 | 24,874,041 | 28,197,818 | △ 3,323,777 | |
| 一般正味財産期末残高 | 20,584,041 | 22,972,818 | △ 2,388,777 | |
| II 指定正味財産増減の部 | | | | |
| III 正味財産期末残高 | 20,584,041 | 22,972,818 | △ 2,388,777 | |

注1：短期借入金限度額1,000,000円

注2：債務負担額はなし

2019年度（令和1年度）第5回理事会議事録

日 時 令和1年10月27日（日）14時00分～17時00分

場 所 新潟県公社総合ビル 3F 会議室

出席者 渡邊博昭、畔上公子、坂西清、桑原喜久男、小柳博明、鎌田真由美、古島香織、田端篤、神林真弓、近藤善仁、寺島健、中村岳史、草間孝之、田村正史、米山裕美、宮崎勝吉、鈴木秀幸、高橋由美子、奈良佳輝、関俊輔、押山ルミ子、吉浦晶也、小林宏一、笠井恵美子、荒木諒太、吉原正弘

委任状 佐藤卓、五十嵐康之、丸山大輔、湯本健史

欠 席 星山良樹

1. 議長 渡邊博昭会長

2. 議題

1) 議事録確認

「第4回理事会議事録」に一部修正あり

各部局報告・連絡 各支部 下越

9/27役員会→7/27役員会

10/5支部研修会開催予定を削除

2) 事務局行動報告

9月14日 第4回理事会

9月17日 ピンクリボンホリデー2019実行委員会へ五十嵐理事 WEB出席

9月17日 令和元年度新潟県検診精度管理調査委員会へ渡邊会長、坂西副会長、畔上副会長、桑原副会長出席

10月04日 令和元年度北日本支部内連絡会議（山形市）へ桑原副会長出席

10月05日 北日本支部学会式典（山形）へ渡邊会長出席

10月09日 第36回がん征圧新潟県大会へ桑原副会長出席

10月14日 健康寿命延伸フォーラムに参画

10月19日 糖尿病関連イベント打合せに畔上副会長、田端理事出席

10月20日 ピンクリボンホリデー2019へ参画

10月26日 新潟県医師会設立記念大会へ渡邊会長出席

10月27日 新潟県臨床検査精度管理試料発送

10月27日 第5回理事会

3) 各部局報告・連絡

総務部

日臨技・北日本支部

・「検体採取等に関する厚生労働省指定講習会の受講促進のお願い」について

新潟県修了者：71.4%（全国平均72.5%）令和元年9月25日時点

令和元年12月で指定講習会終了。

・令和元年度「生涯教育推進研修会助成金」の送金について（通知）

9月30日付で2研修会分の生涯教育推進研修会助成金が入金された。

・新潟県臨床検査技師会生物化学分析部門・生物試料分析科学会甲信越支部新潟分科会第17回研修会 合同研修会について

生物試料分析科学会甲信越支部新潟分科会より共催の申請があり、共催承諾で回答。

- ・第9回東北病理技術研修会の共催について（保留）
宮城県臨床検査技師会会長に確認後、三役で協議し判断。

新潟県

- ・新潟県内中小企業者の受注機会の増大等について（毎年）
施設・設備の保守管理及び物品・役務の調達並びに工事の発注などについて、県はじめ県内での事業活動を行う方々からの一層のご配慮のお願い。
- ・第3回新潟県心臓超音波スキルアップセミナー後援のお願い
後援承諾で回答。

広報部

- 〈ホームページ〉新潟県臨床検査学会案内をアップロード。他、各自研修会案内等、随時更新。
10/26新潟県臨床検査精度管理実施要綱をアップロード。
- 〈会誌〉会誌10月号（学会抄録号）発送済。
- 〈ニュース〉理事会終了後、発行予定。

学術部

- 〈生涯教育〉現時点での登録研修会16件、内申請済14件。令和2年2月末分まで可。
- 〈検査研究〉順次、研修会案内など、ホームページに掲載依頼。
- 〈精度管理〉10/27新潟県臨床検査技師会精度管理試料梱包・発送済。
10/28各310施設に試料到着予定。
11/15結果メ切→11/21値付け・評価予定。
翌年3/6報告会予定。

各支部

- 上越：9/30役員会。10/10支部研修会開催。次回11/25役員会予定。
- 中越：9/26役員会。次回11/28役員会予定。
11/4世界糖尿病デーin長岡2019（アオーレ長岡）、12/7ふれあい研修会開催予定。
- 下越：次回12/14役員会及び第2回支部研修会開催予定。
- 佐渡：次回10/29役員会予定。11/9糖尿病を知る集い参画予定。
- 新潟：10/26支部研修会開催。次回11/20役員会予定。

3. 議題

1) 第93回新潟県臨床検査学会について

- 2019年11月16日（土）9：20～16：10予定 朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター3階
運営マニュアル（事前配布）に沿って、当日の流れ・補足説明及び各担当別での詳細確認あり。
- ・周知事項1-1：集合時刻及び集合場所について（補足）
記載のある7：30集合の各担当役員他、機器展示担当の鈴木新潟支部長も7：30集合。
他は、8：00集合 朱鷺メッセ 3階 受付前 ※草間理事は7：00集合
 - ・周知事項1-3：学会本部（補足）
小会議室306+307 ※305は講師・座長の控室とする。
 - ・周知事項1-4：昼食について（補足）
学生にははじめてからランチョン券を配布する。

- ・一般演題 26演題 会場割付担当：丸山上越支部長
- ・ランチョンセミナー 5社 担当：田村中越支部長
- ・機器展示 2社 担当：鈴木新潟支部長
- ・特別企画 90分 2企画
 - I 医療法改正における書類作成の実際 ～各施設の実例紹介～
担当：臨床検査総合部門・生物化学分析部門
 - II 救急をもっと知ろう！救急初期診療で臨床検査技師ができることって何だろう
～チーム医療としての救急を考える～
担当：高橋政江 技師（新潟県立中央病院）
- ・教育講演 60分 5講演

2) 公益事業について

各種公益事業の企画書・予算書、参加報告などが提出された。

- ・県民公開講座・健康寿命延伸フォーラム 2019年10月14日（月・祝）
活動報告・決算書が提出された。来場者約120名。唾液アミラーゼ測定；84名実施。
- ・ピンクリボンホリデー2019
2019年10月20日（日）10：00～16：00 新潟日報メディアシップ
活動報告・決算書が提出された。唾液アミラーゼ・血管年齢；183名実施。
- ・すこやか・ともしびまつり2019
2019年9月28日（土）、9月29日（日）10：00～16：30 アオーレ長岡
活動報告・決算書が提出された。2日間で、計851名の肺年齢測定を実施。
- ・糖尿病を知る集い（佐渡支部）
2019年11月9日（土）13：00～16：00 佐渡総合病院 2階講堂
企画書・予算書が提出された。
- ・まちなか健康フェスティバル HbA1c 測定会
2019年11月10日（日）10：00～15：30 新潟市民プラザ NEXT21 1F
当日の流れ、準備等の詳細が提示された。
- ・糖尿病を知る集い
2019年11月10日（日）13：00～16：00 新潟市民プラザ NEXT21 6F
当日の流れ、準備等の詳細が提示された。
- ・無料HbA1c 測定会
2019年11月16日（土）13：00～17：00 新潟駅南キャンパスときめいと
当日の流れ、準備等の詳細が提示された。
*県学会同日開催だが、理事4名+ボランティア参加1名で対応予定。
- ・全国「検査と健康展」
2019年11月23日（土）10：00～15：00 イオンモール新潟南スカイコート
10/25時点での出務者が13名（毎年20名）と少ないため、参加保留の理事及び各職場の技師にボランティア参加の声掛けを行う。また、学校案内は五十嵐理事に依頼予定。

3) その他

- ①公益事業等で使用するスタッフベストについて
色；サックス、背面メッシュ仕様のもので承認された。

②事務所パソコンの購入について（承認済）

見積金額：160,820円（マルタケ）に決定。購入時期は阿部事務員と検討する。

③会員・施設変更リストについて

9月後半から10月分までの会員・施設の変更があったので各支部長・担当者は確認する。

④令和元年度ベトナム実践講習会開催にむけて

令和元年12月14日（土）・15日（日）新潟大学医歯学総合病院12F 大会議室

講習会カリキュラムに沿って、関係団体へ講師を依頼中。講師名が決定し次第、三役で審議し承認後、案内を会員に配付予定。

⑤臨床検査総合部門（公衆衛生）研修会開催に伴う実務委員委嘱託について

臨床検査総合部門の約半数が実務（出席）できないため、他施設の会員に実務委員を委嘱し対応することが承認された。

⑥アンケートのお願いについて

今学会の「特別講演Ⅰ」に付随しての要望。内容の吟味・用途を明確にする等条件付きで承認。

⑦令和2年度 第94回新潟県臨床検査学会日程（予定）

会場：朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター 3階フロアー貸し切り

会期：令和2年11月8日（日）

次回理事会 未定（県学会当日報告）

議事録署名人 渡邊 博昭 印
吉原 正弘 印

2019年度（令和1年度）12月常任理事会議事録

日 時 令和1年12月21日（土）14時00分～17時00分

場 所 新潟県公社総合ビル 3F 会議室

出席者 渡邊博昭、桑原喜久男、小柳博明、佐藤卓、鎌田真由美、田端篤、神林真弓、近藤善仁、草間孝之、
田村正史、五十嵐康之、米山裕美、宮崎勝吉、吉原正弘

委任状 畔上公子、坂西清、古島香織、寺島健、中村岳史、鈴木秀幸、丸山大輔

欠 席 星山良樹

1. 議長 桑原喜久男副会長

2. 議題

1) 議事録確認

2) 事務局行動報告

10月27日 第5回理事会

11月10日 まちなか健康フェスティバル HbA1c 測定会へ参画

11月10日 糖尿病を知る集いに参画

11月16日 第93回新潟県臨床検査学会

11月16日 無料 HbA1c 測定会に参画

11月23日 全国検査と健康展

12月09日 第4回精度管理委員会

12月14日～15日 ベットサイド実践講習会

12月17日 ピンクリボンホリデー2019実行委員会へ五十嵐理事 WEB 出席

12月21日 12月常任理事会

3) 各部署報告・連絡

総務部

日臨技・北日本支部

・令和2年度定時総会開催予定日について

2020（令和2）年6月20日（土）開催予定

・令和元年度「生涯教育推進研修会助成金」の送金について（通知）

11月29日付までの3研修会分の生涯教育推進研修会助成金が入金された。

・放射線業務従事者等に対する線量測定等の徹底及び眼の水晶体の被ばくに係わる放射線障害防止対策の再周知について

・医療機関等における雇用調整助成金を活用した雇用維持について（通知）

台風15号、19号による災害発生により、事業活動の縮小を余儀なくされた事業所においては、本特例措置も活用しつつ、従業員の雇用維持に努めていただく旨の通知があった。

・令和元年度 職能拡大推進事業研修会開催について（ご依頼）

令和2年1月19日（日）臨床研究とCRCに関する研修会

令和2年3月1日（日）PSG研修会（第3回）

令和2年3月22日（日）糖尿病療養指導士研修会

新潟県

・令和2年秋の叙勲・褒章候補者の推薦及び叙勲・褒章の潜在候補者調査について（依頼）

新潟県福祉保健部医務薬事課長より依頼があった。該当者なしで報告

- ・「小島三郎記念技術賞」及び「福見秀雄賞」の推薦について（依頼）
新潟県福祉保健部医務薬事課長より依頼があった。担当：畔上副会長
- ・第16回ヘルシー・ソサエティ賞候補者の募集案内送付について
新潟県福祉保健部医務薬事課長より依頼があった。担当：畔上副会長
- ・「新潟県輸血フォーラム2020」の共催について（依頼）
共催承諾で回答
- ・公益財団法人新潟臓器移植推進財団 賛助会員ご加入及び寄付金のお願い
団体年会費として1口10,000円納付
- ・第15回超音波セミナーin新潟 後援依頼
後援承諾で回答
- ・令和元年度 第2回 病理細胞部門研修会 共催依頼
新潟支部病理技術研究会との共催承諾で回答
- ・令和元年度臨床微生物部門研修会 共催依頼
極東製薬工業株式会社との共催承諾で回答
- ・「佐渡地域医療・介護・福祉提供体制協議会」への参加団体登録のお願い
佐渡市の社会保障体制を維持するために、行政を含めた関係者で協議する機会として、医療・介護・福祉提供体制協議会を設立した。新潟県臨床検査技師会佐渡支部の参加団体への登録依頼があった。
(看護協会、薬剤師会、介護福祉会…など登録済み) 参加団体登録を承認

広報部

- 〈ホームページ〉各種研修会案内等、随時更新。新着情報の個別絞り込みが可能となった。
- 〈会誌〉12/23（月）第3回会誌編集会議。
- 〈ニュース〉理事会終了後、発行予定。

学術部

- 〈生涯教育〉年度末までに生涯教育推進研修会助成金の申請として20研修会の登録を完了予定。
- 〈検査研究〉順次、研修会案内など、ホームページに掲載依頼。
- 〈精度管理〉目標値の設定・集計後、1/20以降の第二回協議会へ提出
報告会：2020年3月6日（金）自治会館で開催予定。

各支部

- 上越：11/25役員会開催、11/29形態研究班研修会、次回1月下旬役員会開催予定
2/22春季研修会・支部総会
- 中越：11/28役員会。12/7ふれあい研修会、次回1/23役員会開催予定、2/29研修会・総会予定。
- 下越：12/14第2回支部研修会、次回1/15役員会開催予定、2/22支部研修会・総会。
- 佐渡：11/9糖尿病を知る集い参画予定。3/7支部研修会・総会。
- 新潟：12/11役員会。次回1/15役員会開催予定。2/23支部研修会・総会。

3. 議題

1) 第93回新潟県臨床検査学会（報告）について

- 2019年11月16日（土）9：20～16：10 朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター3階
- 会員数 258名（第92回 258名）：実行委員31名
- 賛助会員 35名（第92回 35名）
- 非会員 2名（第92回 9名）
- 学生 51名（第92回 29名）
- 一般演題：26演題（第92回 33演題）

特別講演：2企画（第92回 3企画）

教育講演：5講演（第92回 5講演）

ランチョンセミナー：5講演（92回 6講演）

機器展示：2社（92回 4社）

- ・収支報告及び、各担当責任者より報告が行われた。
- ・特別企画Ⅰ「医療法改正における各種標準作業書作成の実際」のアンケート集計報告がなされた。
- ・次回（第94回新潟県臨床検査学会）
2020年11月8日（日）朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター3階

2) 公益事業について

各種公益事業の企画書、予算書、決算書、参加報告などが提出された。

- ・世界糖尿病デーin長岡2019

2019年11月4日（祝）12：00～18：00 アオーレ長岡 ホールA、ホワイエ
実務委員10名、血糖測定90名、HbA1c測定80名

- ・糖尿病を知る集い（佐渡支部）

2019年11月9日（土）13：00～16：00 佐渡総合病院 2階講堂
実務委員4名、血圧測定、SMBG測定を実施。参加者30名

- ・まちなか健康フェスティバル HbA1c測定会

2019年11月10日（日）10：00～15：30 新潟市民プラザ NEXT21 1F
実務委員5名 100名（午前50名、午後50名）測定
次回候補日：2020年11月7日（土）・11月14日（土）

- ・糖尿病を知る集い

2019年11月10日（日）13：00～16：00 新潟市民プラザ NEXT21 6F
実務委員7名 市民へのSMBG測定94名
次回：2020年11月1日（日）

- ・無料HbA1c測定会

2019年11月16日（土）13：00～17：00 新潟駅南キャンパスときめいと
実務委員6名 市民へのHbA1c測定・SMBG測定146名

*県学会同日開催中につき、理事4名+ボランティア参加2名で対応。
次回候補日：2020年9月12日（土）、9月22日（火・祝）

- ・ベッドサイド実践講習会 2019年（令和元年）12月14日（土）、15日（日）
企画書・予算書・報告書・決算書が提出された。受講者11名。

- ・全国「検査と健康展」

2019年11月23日（土）10：00～15：00 イオンモール新潟南スカイコート
実務委員13名。

血管年齢測定274名、ストレス測定（唾液アミラーゼ測定）226名、顕微鏡体験80名

臨床検査技師紹介コーナーでは、臨床検査技師について興味をもった市民が多く、県内4校ある学校の説明等も聞いていた。

3) その他

- ①会員・施設変更リストについて

会員・施設の変更があったので各支部長・担当者は確認する。

- ②アテンドサービスパックのリース期間満了について（新臨技ホームページ関連会社）

現行同様の内容での単年の再リース契約を行う。

次々年度以降、スマートフォン・タブレット等にも対応できる契約内容に変更していきたい。

③日臨技の支部割に関する要望

新潟県は現在、北日本支部所属となっているが、所属支部を関東へ変更をお願いしたい。

理由：交通の便、時間・費用においても関東支部の方が利便性はある。

過去の対応（新臨技会誌7月号230ページの解答）を踏襲するのではなく、

①日臨技に対して、積極的に所属支部を関東へ変更するよう要望して頂きたい。

②要望に先立って、必要であれば、新臨技会員への意思調査（アンケート）を実施して頂きたい。

③②の結果を考慮して、日臨技への要望をお願いしたい。

上記のご要望を頂いた→前向きに検討したい。

次回理事会 2020年1月11日（土）

議事録署名人 渡邊 博昭 印
吉原 正弘 印

2019年度（令和1年度）第6回理事会議事録

日時 令和2年1月11日（土）14時00分～17時00分

場所 駅南貸会議室 KENTO ROOM B

出席者 渡邊博昭、桑原喜久男、畔上公子、坂西清、小柳博明、佐藤卓、神林真弓、古島香織、鈴木秀幸、鎌田真由美、田端篤、近藤善仁、田村正史、寺島健、米山裕美、宮崎勝吉、関俊輔、押山ルミ子、吉浦晶也、笠井恵美子、荒木諒太、吉原正弘

委任状 五十嵐康之、中村岳史、丸山大輔、草間孝之、高橋由美子、奈良佳輝、湯本健史

欠席 星山良樹、小林宏一

1. 議長 渡邊博昭会長

2. 議題

1) 議事録確認

下越支部研修会日程の修正 12月12日→12月14日

2) 事務局行動報告

12月21日 12月常任理事会

12月23日 第3回会誌編集会議

1月11日 第6回理事会

3) 各部署報告・連絡

総務部

日臨技・北日本支部

・令和2年度 ベッドサイド研修会の中止について（お知らせ）

平成30年度から臨床検査技師がチーム医療に積極的に参加するなど、病棟や様々な医療現場で活動できる知識を身につけることを目的に開催してきた。令和2年度の各都道府県に対する事業に該当していたが表題の事業について中止の連絡があった。

・「会員施設実態調査」並びに「会員意識調査」実施への協力について（周知のお願い）

日臨技ホームページより WEB 回答にて調査の協力をお願いしたい。

期日：2020年1月31日（金）

・令和元年度「生涯教育推進研修会助成金」の送金について

12月27日付で、臨床血液部門研修会（11月2日開催）および臨床検査総合部門研修会（11月9日開催）について助成金67,500円が振込送金されたとの連絡があった。

・第69回日本医学検査学会一般演題座長候補推薦について（依頼）

2020年4月25日（土）、26日（日）に宮城県にて開催される医学検査学会の座長候補者として、新潟県からは6検査研究部門9名の選出の依頼があった。該当する各検査研究部門より、一般演題座長候補者の選出・報告があった。

・4月9日「子宮頸がんを予防する日」集中キャンペーン寄付のお願い

認定NPO法人子宮頸がんを考える市民の会と日本臨床細胞学会細胞検査士会より、運営・活動費用として寄付金募集のお願いがあった。昨年度同様に見送ることとした。

新潟県

・病理細胞部門長交代について

職場が新潟県外となり部門活動に支障が生じるため、辞任届が提出された。

後任として、現在の副部門長が部門長および日臨技北日本支部病理細胞部門員となった。

また、交代で1名新任の部門員が承認された。

広報部

〈ホームページ〉各種研修会案内等、随時更新。新着情報の個別絞り込みが可能となった。

過去の求人情報の整理を行う。

〈会誌〉12/23(月)第3回会誌編集会議。1月号がまもなく発刊予定。

〈ニュース〉理事会終了後、発行予定。

学術部

〈生涯教育〉年度末までに生涯教育推進研修会助成金の申請として20研修会の登録を完了。

〈検査研究〉順次、研修会案内など、ホームページに掲載依頼。

2月会計締切りのため、3月に研修会実施予定の部門は早急に手続きを行う。

〈精度管理〉施設別報告書ダウンロード：2020年2月1日～(予定)

報告会：2020年3月6日(金)自治会館で開催予定。

各支部

上越：1/30役員会開催、2/22春季研修会・支部総会

中越：1/23役員会開催、2/29研修会・支部総会

下越：1/15役員会開催、2/22支部研修会・支部総会

佐渡：1/23役員会開催、3/7支部研修会・支部総会

新潟：1/15役員会開催、2/19役員会開催予定。2/23支部研修会・支部総会

3. 議題

1) 総会および臨床検査セミナーについて

・開催候補日：2020年5月30日(土)

・会場候補：新潟テルサ もしくは 新潟ユニゾンプラザ

同日に篠川至賞授与式・篠川至賞記念講演を予定。その後、2020年度通常総会も開催予定

次回理事会までに各自でセミナー(案)を考えてくる。

2) 第94回新潟県臨床検査学会について

2020年11月8日(日)9:00~15:30 朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター3階

・学会実行委員長：田村中越支部長

・メインテーマの募集については例年通り会誌4月号にて募集掲載予定

・学会ワーキンググループとして学術担当理事、学会担当理事、広報担当理事を中心にテーマ、特別企画等の学会の方向性を提案していくこととなった。

(今までは、学術担当・学会実行委員長の負担が大きかったためワーキンググループを立ち上げるということとなった。)

3) 災害対策について

2020年1月19日の第2回精度管理協議会開催の際、医務薬事課ならびに医師会関係者も同席しているので、相談したい。

4) その他

①文書発送について

広報活動として、各種文書を各施設等に発送しているが、業務量軽減や経費削減、迅速性など考慮し、メール等の電子媒体での配信を検討したい。

②糖尿病関連団体からの公益事業協力依頼について

2020年4月29日ならびに5月23日に糖尿病関連団体より市民向けのSMBG測定等の依頼があった。

再度、実施時間や各種内容等を主催者側に確認後、返答予定となった。

③会員・施設変更リストについて

12月後半から2020年1前半分までの会員・施設の変更があった。
各支部長・担当者は確認する。

次回理事会 2020年2月8日(土)もしくは15日(土)

議事録署名人 渡邊 博昭 印
吉原 正弘 印